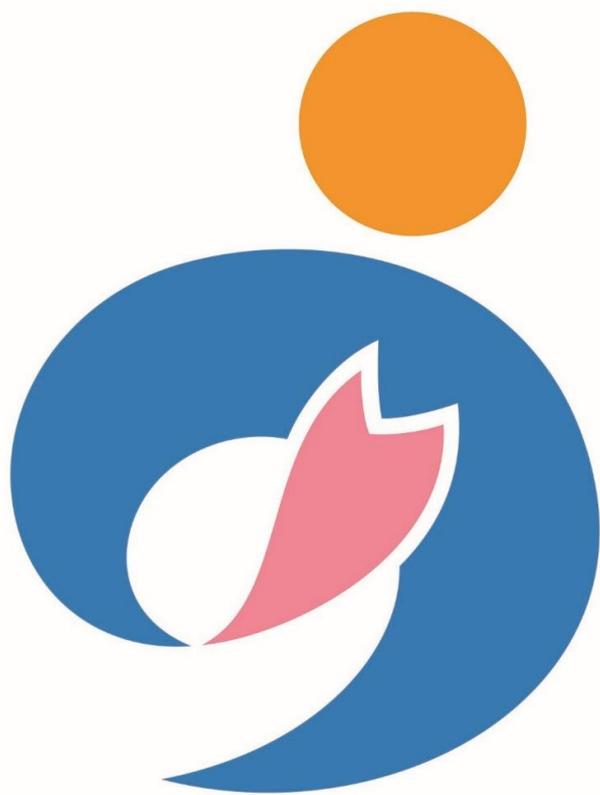


令和6年度 決算事業報告書



人権・社会教育課



款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	13	諸費	会計名	一般会計	
事業名	2-6	償還金(教育委員会)				所属名	人権・社会教育課				
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	国				総合計画における位置づけ					
	意図 (対象をどうするか)	過年度における国費補助金等対策事業の実績により、返還を行う。				③人権尊重社会の実現					
	成果の視点 (どのような効果があるか)	国及び県の補助金等の返還を適切に行う。				「五つの挑戦」から見た位置づけ					
					④共生と防災のまちづくり 根拠法令・要綱等						
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	鳥取県隣保館運営費等補助金交付要綱						
	2,622,000 円	899,000 円	△ 1,723,000 円	△ 65.7 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減						令和6年度執行率	100.00 %
	2,622 千円	899 千円	△ 1,723 千円	△ 65.7 %							

【事業内容】

過年度事業において、補助金の精算による返納を行う。

【決算の状況】

補助金の名称	(計画)	(実績)	①成果実績または活動実績	単位:円
	交付金額	事業実績	実績額 (決算額)	備考
隣保館運営費等補助金	12,160,000	11,275,000	885,000	人権・社会教育課
保育対策総合支援事業費補助金	1,681,000	1,667,000	14,000	総務・学校教育課
計	13,841,000	12,942,000	899,000	

②成果または活動の問題点

申請時点の見込みから、実績額が想定より減少することにより、返還額が多くなる場合がある。

※前年度は、実績による隣保館運営費等補助金の返還額が多かったため。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				22 償還金、利子及び割引料	2,622,000	899,000
	一般財源	2,622,000	899,000			
	計	2,622,000	899,000	計	2,622,000	899,000

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	引き続き概算払いによる補助金交付を受け、年度実績により返金が生じた場合は、事務を適正に執行する。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	引き続き、実績に伴う補助金の返還を適正に行う。
	解決すべき課題への方策	交付金額と実績額の差が大幅に乖離し、返還金が多額にならないよう交付金額を見込む必要がある。

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費	会計名	一般会計	
事業名	22	犯罪被害者等見舞金支給事業					所属名	人権・社会教育課			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	犯罪行為により死亡された遺族又は重傷を負われた方。					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	犯罪被害者等が受けた被害の早期回復及び軽減を図る。					⑫生活安全体制の強化				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	犯罪被害者等の経済的負担の軽減が図られる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ				
							④共生と防災のまちづくり 根拠法令・要綱等				
南部町犯罪被害者等支援条例 南部町犯罪被害者等見舞金支給規則											
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減							
	0 円	0 円	0 円	100.0 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減		令和6年度					
	300 千円	300 千円	0 千円	0.0 %		執行率	0.00 %				

【事業内容】

犯罪行為により死亡した方の遺族又は犯罪行為により重傷を負った方へ見舞金を支給する。

【決算の状況】

(計画)

○ 遺族(傷害)見舞金 30万円(10万円)

(実績)

①成果実績または活動実績

○ 遺族(傷害)見舞金

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
支給件数(件)	0	0	0
支給額(円)	0	0	0

・ 鳥取県犯罪被害者支援連絡協議会
12/16 模擬支援調整会議(研修会)参加

②成果または活動の問題点

犯罪被害者支援に対する知識の向上が必要。

※申請者がいなかったため

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
15-2-2-2	犯罪被害者等見舞金給付事業補助金	0	0	19 扶助費	0	0
	一般財源	0	0			
	計	0	0	計	0	0

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	犯罪被害者等の支援を行うことを目的とする民間団体及びその他支援者と相互に連携を図る。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	町民が犯罪被害者となった場合に切れ目のない支援を行うことができるよう、引き続き鳥取県犯罪被害者支援連絡協議会へ参画して情報収集するとともに、被害者支援に係る機関の関係構築に努める。
	解決すべき課題への方策	県などが開催する研修会等に参加し、犯罪被害者等の支援についての知識の向上を図る。

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	4	高齢者福祉費	会計名	一般会計	
事業名	8	ねんりんピック2024鳥取大会開催事業					所属名	人権・社会教育課			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	令和6年度に鳥取県で行われる「健康福祉祭」(ねんりんピック)のソフトボール競技の参加者。					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	円滑な競技実施とおもてなしを行う。					⑥歴史・文化及びスポーツの振興 「五つの挑戦」から見た位置づけ				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	競技実施においては適切な準備と運営を行い、おもてなしや町のPRも実施する。					③健康長寿のまちづくり 根拠法令・要綱等 令和6年度第36回全国健康福祉祭とつとり大会交流大会開催準備事業費補助金交付要綱				
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		令和6年度執行率					
	65,869 円	2,794,002 円	2,728,133 円	4,141.8 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減							
	238 千円	2,795 千円	2,557 千円	1,074.4 %							

【事業内容】

令和6年度に鳥取県で開催される全国健康福祉祭(ねんりんピック)において、南部町はソフトボールの会場となっており(米子市・大山町・琴浦町と分散開催)、実施主体である南部町実行委員会に補助金の交付を行うとともに、実行委員会に参画し、円滑な大会準備と大会運営を行う。

【決算の状況】

(計画)

- ねんりんピックはばたけ鳥取2024南部町実行委員会補助金
交付目的:本町で開催されるねんりんピックはばたけ鳥取2024開催準備及び大会運営を円滑に推進することを目的とする。
交付先:ねんりんピックはばたけ鳥取2024南部町実行委員会
予算額:2,794,002円
- 南部町実行委員会へ参画し、円滑な大会準備と大会運営を行う。
南部町開催日:令和6年10月20日(日)から10月21日(月)
南部町競技会場:南部町民野球場・南部町民運動場

(実績)

- ①成果実績または活動実績
 - ねんりんピックはばたけ鳥取2024南部町実行委員会補助金
総事業費6,413,201円 - 県補助金3,618,717円 - 雑入482円 = 2,794,002円
補助金の交付により、円滑に大会を実施することができた。
 - 会議開催回数・・・実行委員会2回、運営委員会5回、ソフトボール競技関係者会議8回
参加チーム・参加者数・・・16チーム248名(選手・監督(同行者含む))
健康づくり教室やふるまい、特産物や町PRブースを設置。 [鳥取県HP](#)

- ②成果または活動の問題点
町実施内容について町民に対しての周知が不足していた。

※大会実施年度で、運営費等の事業費増。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
18-2-4-1	さくら基金繰入金	65,869	2,794,002	18 負担金補助及び交付金	65,869	2,794,002
	一般財源	0	0			
	計	65,869	2,794,002	計	65,869	2,794,002

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	このような大会の実施を通して、生涯現役で活躍される町民のモチベーションに繋げ、又、全国へ南部町の魅力を発信し、再訪のきっかけづくりの機会とする。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	他課と連携し、特産物販売や町PRブースで観光振興・地域経済の活性化を図り、又、応援旗の作成やふるまいなどによるおもてなしを実施した。今後も大会はホスピタリティ溢れるものを実施する。
	解決すべき課題への方策	今後の大会の実施においては、より一層の広報等による周知を行い、機運醸成に努める。

款	3	民生費	項	4	人権対策費	目	1	人権対策費	会計名	一般会計
事業名	1	人権対策事務費					所属名	人権・社会教育課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町民					総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)	あらゆる差別をなくし、人権が真に尊重されるまちづくりを実現する。					③人権尊重社会の実現 「五つの挑戦」から見た位置づけ			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	全ての町民の人権が保障され、明るく住みよい町南部町を実現する。					④共生と防災のまちづくり 根拠法令・要綱等 人権教育・啓発推進法、南部町における部落差別をはじめあらゆる差別をなくす条例、南部町人権・教育・啓発及び同和対策事業関係団体等事業費補助金交付要綱			
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減						
	3,921,488 円	4,129,095 円	207,607 円	5.3 %						
前年度比較	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度執行率	91.49 %				
	4,532 千円	4,513 千円	△ 19 千円	△ 0.4 %						

【事業内容】

人権課題をテーマに学習する「ミカエル・セミナー」、身近な人権課題を学習する「振興区別人権問題交流懇談会」を軸に、それぞれの取り組みの特性を活かし、人権教育、人権啓発活動を推進する。

【決算の状況】

(計画)

- ミカエル・セミナー
年間4回開催

- 振興区別人権問題交流懇談会
人権学習推進委員、各振興協議会と連携した企画運営を行う。
- 南部町人権・同和教育研究集会
1年間の取り組みの総括の会と位置付け、事業の振り返りと今後の活動の方向性について研究・協議する。
- 負担金
鳥取県西部地区同和対策協議会町村負担金 :36,400円
米子人権擁護委員協議会負担金 :61,900円
鳥取県人権保育連絡会負担金・会費:12,000円
鳥取県人権文化センター会費及び鳥取県人権教育推進協議会研究集会負担金 :160,900円
とっとり被害者支援センター負担金 :30,000円

(実績) ①成果実績または活動実績

- ミカエル・セミナー

日程	テーマ・内容	講師	参加者数
5/30	社会の意識と人権	吉畑 早苗	77名
7/17	同和問題と人権	松村 智広	89名
9/10	高齢化社会と人権	映画上映	154名
12/11	障がいと人権	新井 素子	58名

- 振興区別人権問題交流懇談会
振興区別又は小集落ごとに人権研修を実施。
地域での人権学習会 26回
- 南部町人権・同和教育研究集会
開催日:令和7年2月1日(土)開催 参加者117人
内容:表彰式、基調提案、活動報告、記念講演

- 負担金
鳥取県西部地区同和対策協議会町村負担金 :36,400円
米子人権擁護委員協議会負担金 :61,900円
鳥取県人権保育連絡会負担金・会費:22,000円
鳥取県人権文化センター会費及び鳥取県人権教育推進協議会研究集会負担金 :159,947円
とっとり被害者支援センター負担金:30,000円
負担金を出した効果:それぞれの人権関係団体に負担金を出すことより、当該団体の研修会・セミナーなど、人権啓発活動の推進を図り、もって人権尊重社会の実現に寄与した。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				10 需用費	11,750	13,795
				11 役務費	28,976	29,180
				18 負担金補助及び交付金	3,880,762	4,086,120
	一般財源	3,921,488	4,129,095			
	計	3,921,488	4,129,095	計	3,921,488	4,129,095

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	差別解消三法に示されている人権教育、啓発活動の主体となる活動として、人権研修の機会の提供と地域での人権学習を支援、推進する。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	人権教育、啓発活動を継続しながら、広報等で広く周知を行い、より多くの町民の方に研修に参加していただく機会を提供する。
	解決すべき課題への方策	人権尊重社会の実現に向け、関係機関と連携をとりながら、参加したいと思う内容の人権研修、啓発活動を継続する。

事業名	1	人権対策事務費	所属名	人権・社会教育課
-----	---	---------	-----	----------

○ 補助金
(南部町人権教育・啓発及び同和対策事業関係
団体等事業費補助金)

南部町人権会議補助金
交付目的:あらゆる差別を解消するとともに、人
権保障に係る施策及び人権教育、啓発活動の
推進に取り組む。
交付先 :南部町人権会議
予算額 :1,630,000円

南部町同和事業推進協議会補助金
交付目的:同和事業を積極的に推進し、もって
同和地区住民の社会的地位の向上をはかる。
交付先 :南部町同和事業推進協議会
予算額 :2,520,000円

○ 補助金
(南部町人権教育・啓発及び同和対策事業関係
団体等事業費補助金)

南部町人権会議補助金
交付目的:あらゆる差別を解消するとともに、人権保障
に係る施策及び人権教育、啓発活動の推進に取り組
む。
交付先 :南部町人権会議
交付額 :1,454,861円
【補助金積算の内容】
事業費総額1,455,178円に対する町助成。

南部町同和事業推進協議会補助金
交付目的:同和事業を積極的に推進し、もって同和地
区住民の社会的地位の向上をはかる。
交付先 :南部町同和事業推進協議会
交付額 :2,321,012円
【補助金積算の内容】
事業費総額2,321,336円に対する町助成。

単位:円

細節	予算額	決算額	内容
消耗品費	17,503	10,595	コピー代
食糧費	4,000	3,200	人権週間町内啓発活動昼食代(人権擁護委員)
通信運搬費	31,000	29,180	郵送料
その他負担金	310,247	310,247	鳥取県西部地区同和対策協議会、米子人権擁護委員協議会等
その他補助金	4,150,000	3,775,873	南部町人権会議、南部町同和対策推進協議会
合計	4,512,750	4,129,095	

②成果または活動の問題点

ミカエル・セミナー等において、参加したいと思う内容の取り込みが不十分である。

款	3	民生費	項	4	人権対策費	目	1	人権対策費		一般会計
事業名	2	就職奨励金支給事業							所属名	人権・社会教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	新規学卒者のうち、就職について特に援助を必要とする者				総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	常用就職の促進及び職業の安定を図る。				③人権尊重社会の実現				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	対象者が事業を利用されることにより、就職に必要な準備への支援ができる。				「五つの挑戦」から見た位置づけ ④共生と防災のまちづくり 根拠法令・要綱等				
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	南部町における部落差別をはじめあらゆる差別をなくす条例 南部町特定新規学卒者就職奨励金支給規則					
	125,000 円	100,000 円	△ 25,000 円	△ 20.0 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度執行率	37.04 %				
	225 千円	270 千円	45 千円	20.0 %						

【事業内容】

身体障がい者、知的障がい者、社会的事情等により就職が困難な者を対象に、中学、高等学校、短期大学、大学、盲・聾学校を卒業した者のうち、卒業の翌月までに常用労働者として就職が決定したものに対して奨励金を支給する。

【決算の状況】

(計画)

支給該当予定者数

大学生(卒業見込み者) 4名

高校生(卒業見込み者) 5名

(実績) ①成果実績または活動実績

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	交付人数(人)	交付額(円)	交付人数(人)	交付額(円)	交付人数(人)	交付額(円)
大学等卒業生	2	50,000	2	50,000	1	25,000
高校卒業生	1	25,000	3	75,000	3	75,000
合計	3	75,000	5	125,000	4	100,000

②成果または活動の問題点

事業の性質上、年度末の申請となるため、速やかな処理と申請漏れのなきよう関係機関との連携が重要である。

※進学により申請者が減少したため。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				19 扶助費	125,000	100,000
	一般財源	125,000	100,000			
	計	125,000	100,000	計	125,000	100,000

今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容	常勤労働への就職が難しいなか、今後も就職が容易になるとは考えにくいいため、継続して支援を実施する。
②次年度へ向けた次への行動・具体策	
達成できた点をさらに伸ばす方策	引き続き特別支援学校、両隣保館等関係機関と連携し、情報提供をしていく。事業のさらなる活用を図るため広報等で周知を行う。
解決すべき課題への方策	より申請しやすくなるよう、申請に係る提出書類等について検討を行う。

款	3	民生費	項	4	人権対策費	目	1	人権対策費	会計名	一般会計
事業名	3	人権啓発地方委託事業						所属名	人権・社会教育課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町民						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	人権課題を学び、感じることで、人権を自分のこととして捉え、基本的人権を擁護する。						③人権尊重社会の実現		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	人権コンサートの実施を通して、町民に多様な視点で人権の気づきを得てもらい、幅広い世代の人権感覚を養う。						「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	根拠法令・要綱等				
		200,000 円	200,000 円	0 円	0.0 %	人権教育・啓発促進法 鳥取県人権啓発活動再委託要綱 南部町における部落差別をはじめあらゆる差別をなくす条例				
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度	執行率			
		397 千円	200 千円	△ 197 千円	△ 49.6 %		100.00	%		

【事業内容】

事業費を県の委託金として受け入れ、人権啓発事業を開催する。
(歳入の委託金の補助割合は10/10)

【決算の状況】

(計画)

○ ミカエル・人権コンサート

日時: 令和6年11月頃
会場: 富有まんてんホール
内容: 高橋亜美さんによるコンサート

(実績)

① 成果実績または活動実績

○ ミカエル・人権コンサート

日時: 令和6年11月15日
会場: 富有まんてんホール
内容: 高橋亜美さんによるコンサート
テーマ: 生まれてきてくれてありがとう
参加者: 65名

報償費 200,000円 出演料
(旅費含む)

② 成果または活動の問題点

実施内容によっては、参加世代が限られてしまうので、全世代に参加いただけるような内容を模索していく必要がある。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
15-3-2-1	人権啓発活動委託金	200,000	200,000	7 報償費	200,000	200,000
	一般財源	0	0			
	計	200,000	200,000	計	200,000	200,000

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	幅広い年代が参加できる形式を継続しながら、人権への気づきや人権を感じる機会を提供していく。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	様々な人権課題について「感じる」ことを大切にしながら、内容、講師等の選定、効果的な広報等に努める。
	解決すべき課題への方策	開催時期・内容等を、幅広い年代の方に要望を聞き取り、より参加していただく方法を検討する。

款	3	民生費	項	4	人権対策費	目	2	隣保館費	会計名	一般会計	
事業名	1-1	隣保館運営審議会委員報酬(宮前隣保館)					所属名	人権・社会教育課			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	隣保館運営審議会委員					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	隣保館運営審議会は、宮前隣保館及び西伯文化会館の事業計画・運営について審議する。					③人権尊重社会の実現 「五つの挑戦」から見た位置づけ				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	隣保館運営について、審議することにより、両隣保館が町の人権施策の拠点としての役割を担っていくための活動へ活かすことができる。					④共生と防災のまちづくり 根拠法令・要綱等 南部町隣保館運営審議会規則 南部町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例				
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		令和6年度執行率	79.77 %				
	18,900 円	35,100 円	16,200 円	85.7 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減							
	60 千円	44 千円	△ 16 千円	△ 26.7 %							

【事業内容】

隣保館運営審議会を年2回開催し、宮前隣保館、西伯文化会館の事業・運営等に関する重要事項を調査審議する。又、隣保館事業の評価を行い、事業効果を高める。

【決算の状況】

(計画)

○ 隣保館運営審議会

委員任期: 令和6年10月1日～令和8年3月31日

隣保館運営審議会委員 10名

委員構成: 民生委員、人権擁護委員、社会教育委員、小中学校長(各1名)、同和事業推進協議会、あいのお委員、隣保館利用者(3名)

内容: 隣保館運営審議会を年2回開催。宮前隣保館、西伯文化会館の事業・運営等に関する重要事項を調査審議及び事業の評価を行う。

(実績) ①成果実績または活動実績

○ 隣保館運営審議会

委員任期: 令和6年10月1日～令和8年3月31日

委員10名(男6名、女4名)

委員構成: 民生委員、人権擁護委員、社会教育委員、小中学校長(各1名)、同和事業推進協議会、あいのお委員、隣保館利用者(3名)

内容: 隣保館運営審議会を年2回開催。

第1回 令和6年10月23日(水) 出席委員 7名

(協議事項)

・令和7年度に向けて

意見: 両隣保館が行っていることを色々な世代に

知ってほしい。

第2回 令和7年3月13日(木) 出席委員 9名

(協議事項)

・令和7年度事業計画について

意見: 今年度課題点として挙がっていた各事項について、具体的に解決策を検討する必要がある。

※R5年度1回、R6年度2回開催のため。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				1 報酬	18,900	35,100
	一般財源	18,900	35,100			
	計	18,900	35,100	計	18,900	35,100

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	委員の豊富な知見を活用し、館運営や今後の隣保館のあり方などについて意見や評価をいただくことで、活動へ活かす。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	今後も継続して審議会を開催し、隣保館運営事業の充実に資する。
	解決すべき課題への方策	隣保館が今後の隣保館活動について課題を明確にし、運営審議会での協議を行う。令和6年度から連絡会議を開催し、情報共有に努めている。

事業名	1-1 隣保館運営審議会委員報酬(宮前隣保館)	所属名	人権・社会教育課
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>○報酬 2,700円×8名×2回=43,200円 委員10名の内、2名は校長職務であるため、報酬 支払なし</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>○報酬 第1回 2,700円×6名=16,200円 第2回 2,700円×7名=18,900円</p> <p>②成果または活動の問題点 館が課題としている点についての解決策に至る協 議が不足している。</p> </div> </div>			

款	3	民生費	項	4	人権対策費	目	2	隣保館費	会計名	一般会計
事業名	1-5	隣保館運営事業(宮前隣保館)				所属名	人権・社会教育課			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	隣保館利用者				総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	人権意識の高い人材育成を行い、差別の現状を発信する。				③人権尊重社会の実現				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	同和問題を始め、あらゆる人権問題の解決に向けた学習・啓発・交流活動を展開する。				「五つの挑戦」から見た位置づけ				
						④共生と防災のまちづくり				
						根拠法令・要綱等				
						南部町隣保館条例				
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減						
	1,826,478 円	3,018,098 円	1,191,620 円	65.2 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減		令和6年度	89.50 %			
	2,220 千円	3,372 千円	1,152 千円	51.9 %		執行率				

【事業内容】

- 相談事業の充実を図る。
- 地区住民を対象とした学習会・研修会を開催する。
- 現地研修を通じて正しい差別の現状及び情報の発信する。

【決算の状況】

(計画)

- 生活相談・訪問活動
地区内の実情を把握する
・生活相談:随時
・75歳以上独居訪問:週1回以上
- 学習会・研修会
・対象児童5名、学習会毎週水曜、
・研修会 年1回
- 各交流事業
・小学生3回 高齢者1回
- 現地研修
正しい情報発信を行う。
・小学校1回、他随時受付
- 第43回熱と光の解放文化祭の開催
・10/27に開催予定

(実績) ①成果実績または活動実績

- 生活相談・訪問活動
・生活相談:42件
・訪問活動:対象者5名 123回
- 学習会・研修会
学習会:参加児童5名 45回
・研修会 実施なし。
- 各交流事業
・小学生3回 8/3 13名、8/7 7名、8/21 7名
・高齢者1回 9/25 31名
- 現地研修
・フィールドワークを中心とした研修を実施
3回 8/23 16名、10/31 22名、11/13 36名
- 第43回熱と光の解放文化祭の開催
10/27開催 約140名参加
記念講演「へこたれへん」～人はきつとつながれる～
講師:みえ人権教育・啓発研究会代表 松村 智広氏
バザー、小学生の発表(紙芝居)、手話うたなど実施。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
15-2-2-6	隣保館運営補助金	1,699,000	1,274,000	7 報償費	199,000	245,000
20-5-5-1	子ども食堂ガス代負担金	36,000	36,000	8 旅費	0	11,988
				10 需用費	884,757	1,945,447
				11 役務費	88,170	78,783
				12 委託料	107,538	135,504
				13 使用料及び賃借料	366,513	417,576
				15 原材料費	20,000	20,000
				17 備品購入費	79,200	82,500
				18 負担金補助及び交付金	81,300	81,300
	一般財源	91,478	1,708,098			
	計	1,826,478	3,018,098	計	1,826,478	3,018,098

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	各年齢層が参加しやすい事業を計画するため、地区住民及び各団体の意見を取り入れ運営委員会で検討する。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	解放文化祭では数年ぶりに小規模ながらバザーを開催し反響が大きかったため、各団体の協力をお願いしバザーの充実を図る。
	解決すべき課題への方策	地区住民が参加しやすい事業を各団体及び関係機関と連携しながら検討する。

事業名	1-5 隣保館運営事業(宮前隣保館)	所属名	人権・社会教育課
-----	--------------------	-----	----------

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者懇談会
保護者と学校の教職員との懇談会
2回 開催予定 ○ 負担金 <ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥取県隣保館連絡協議会負担金:70,000円 ・ 鳥取県西部地区隣保館集会所等
職員連絡協議会負担金:11,300円 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者懇談会
学習会には中学生はいないが、教職員へ継続して協力を
をお願いした。 2回 開催 ○ 負担金 <ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥取県隣保館連絡協議会負担金:70,000円
負担金を出した効果:県内隣保館の相互の連携・協力が
図れ、研修会等の実施により、人権啓発に寄与できた。 ・ 鳥取県西部地区隣保館集会所等
職員連絡協議会負担金:11,300円
負担金を出した効果:県西部隣保館の相互の連携・協力が
図れ、研修会等の実施により、人権啓発に寄与できた。 |
|--|---|

単位:円

細節	予算額	決算額	内容
報償費	315,000	245,000	解放文化祭記念講演、学習会謝礼等
普通旅費	32,000	11,988	研修旅費
消耗品費	184,359	184,359	コピー代、クラフト封筒等消耗品
燃料費	108,000	101,374	ガス代
食糧費	10,000	0	購入なし
印刷製本費	29,000	14,700	写真現像、封筒印刷
光熱水費	746,000	660,514	水道代、電気代
施設修繕料	996,000	984,500	軒樋修繕工事、電話設備構成変更作業
備品修繕料	10,000	0	備品修繕なし
医薬材料費	3,000	0	購入なし
通信運搬費	70,309	70,309	電話料金
火災保険料	9,000	8,474	建物災害共済継続委託分担金
保守点検委託料	35,000	20,900	消防設備点検(上田商事)
施設管理委託料	36,000	35,404	ガラス清掃・床面洗浄ワックス(東亜建物管理)
その他の委託料	80,000	79,200	グリストラップ清掃(みつわ環境開発)
借上料	456,332	403,080	AED、バス、複写機借上料
使用料	30,000	14,496	水道代、再送信料金
原材料費	40,000	20,000	解放文化祭食材費
備品購入費	100,000	82,500	電子レンジ
その他負担金	82,000	81,300	県隣協、西部隣協負担金
合計	3,372,000	3,018,098	

②成果または活動の問題点

各事業では、地区住民の参加が増えてきたが、高齢化が進み参加者が固定化してきている。さらに住民が参加で来るよう、運営委員会等で検討する必要がある。

款	3	民生費	項	4	人権対策費	目	2	隣保館費	会計名	一般会計
事業名	2-3	隣保館運営事業(西伯文化会館)				所属名	人権・社会教育課			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町民				総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	同和問題をはじめ、あらゆる人権問題の解消を目指し、誰もが幸せで安心して暮らせる町づくりを目指す。				③人権尊重社会の実現				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	地区内外の人権意識の向上。 生活弱者の支援、施策の情報提供。 人権教育のリーダー育成。				「五つの挑戦」から見た位置づけ				
					④共生と防災のまちづくり 根拠法令・要綱等 南部町隣保館条例					
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減						
	1,951,196 円	2,521,907 円	570,711 円	29.2 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度執行率	87.48 %				
	2,443 千円	2,883 千円	440 千円	18.0 %						

【事業内容】

- 地区内の保・小・中・高・成人を対象とした学習、研修を通して自尊感情を高め自立を促す。
- 南部町内外の方々(県外含む)への啓発・学習・広報を通じて同和問題をはじめとする差別問題の理解・解消を目指す事業を行う。

【決算の状況】

- | | |
|---|---|
| <p>(計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活相談・訪問活動
地区内の実情把握をする
・生活相談:随時
・75歳以上独居訪問:月2回 ○解放まつり
地域交流や人権教育・啓発・広報事業を通して差別問題の理解・解消をめざす。
開催日:11/3 ○地区学習会(隔週木曜)や教養学習事業(ほのぼのサロン月1回、100歳体操週1回等)を継続して実施していく。 ○福祉事業を通して、高齢者独居世帯の見守りを行う(4回)。 | <p>(実績) ①成果実績または活動実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活相談・訪問活動
・生活相談:154件
・75歳以上独居訪問:5名 98回 ○解放まつり
解放まつりは地区内外から多くの参加があった(11/3開催。参加者約150人)。
講演「人形に思いを込めてご縁はつながる」
講師:安部朱美氏
人権標語表彰式、発表会(舞踊・コーラス等)などを実施。 ○地区学習会は生徒数は減少しているが、計画に沿って実施できた(20回)。
ほのぼのサロン(13回)、100歳体操(51回)。
全町小学生対象の夏休み陶芸教室(2回計48人)。 ○高齢者独居世帯の見守りの一環として、配食を行った(5回実施)。 |
|---|---|

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
15-2-2-6	隣保館運営費補助金	1,633,000	1,129,000	7 報償費	155,000	150,000
				8 旅費	0	1,702
				10 需用費	904,201	1,225,213
				11 役務費	104,215	106,186
				12 委託料	330,440	346,280
				13 使用料及び賃借料	333,940	514,076
				15 原材料費	8,300	10,000
				17 備品購入費	45,100	98,450
				18 負担金補助及び交付金	70,000	70,000
	一般財源	318,196	1,392,907			
	計	1,951,196	2,521,907	計	1,951,196	2,521,907

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	地域住民に寄り添う事業を展開する。教育と啓発事業に努める。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	地域の総合相談の窓口として、館職員が情報共有しながらきめ細やかな対応ができた。地域との信頼関係がより深まるよう、引き続き訪問活動も行っていく。
	解決すべき課題への方策	現在行っている事業対象や、内容を再検討して、住民のニーズに合った事業を行い、館利用者の拡大に繋げる。

事業名	2-3 隣保館運営事業(西伯文化会館)	所属名	人権・社会教育課
-----	---------------------	-----	----------

○ 負担金
鳥取県隣保館連絡協議会負担金:70,000円

○ 負担金
鳥取県隣保館連絡協議会負担金:70,000円
負担金を出した効果:県内隣保館の相互の連携・協力が図れ、研修会等の実施により、人権啓発に寄与できた。

単位:円

細節	予算額	決算額	内容
報償費	293,000	150,000	解放まつり講師謝礼、小学校学習会報償費等
普通旅費	31,000	1,702	研修旅費
消耗品費	218,000	201,099	コピー代、消耗品等
燃料費	110,000	85,335	ガス代、灯油代
食糧費	30,000	29,190	料理教室調味料等
印刷製本費	5,000	4,720	写真カラープリント
光熱水費	513,600	465,529	水道料金、電気代
施設修繕料	439,340	439,340	浄化槽チェッカープレート取替工事等
備品修繕料	13,060	0	備品修繕なし
通信運搬費	53,000	43,290	電話代、切手代
手数料	15,000	9,600	浄化槽法定点検(鳥取県保健事業団)
火災保険料	54,000	53,296	建物災害共済継続委託分担金
保守点検委託料	136,000	123,200	消防設備点検(上田商事)57,200円、浄化槽維持管理(みつわ環境開発)66,000円
施設管理委託料	224,000	223,080	浄化槽清掃(みつわ衛生社)192,280円、ガラス清掃(東亜建物管理)30,800円
借上料	543,000	491,240	AED、バス借上料
使用料	25,000	22,836	NHK放送受信料、再送信料金等
原材料費	10,000	10,000	防災訓練炊き出し用食材等
備品購入費	100,000	98,450	DVD、書籍購入
その他負担金	70,000	70,000	県隣協負担金
合計	2,883,000	2,521,907	

②成果または活動の問題点

高齢者の方の館利用者は増加しているが、他世代の利用者が少なく、その拡大について検討する必要がある。

款	3	民生費	項	4	人権対策費	目	3	老人館費	会計名	一般会計
事業名	1	老人館運営事業						所属名	人権・社会教育課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	地区内高齢者						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	安心して暮らせる健康長寿の地域づくりを行う。						③人権尊重社会の実現		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	高齢者が気軽に利用できる施設にする。						「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								④共生と防災のまちづくり 根拠法令・要綱等		
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減						
	190,824 円	167,168 円	△ 23,656 円	△ 12.4 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減		令和6年度				
	326 千円	239 千円	△ 87 千円	△ 26.7 %		執行率	69.94	%		

【事業内容】

地区高齢者による様々な学習活動・交流活動・奉仕活動その他の体験活動を通して生き甲斐の有る地域づくりを行い、安心して暮らせる地域づくりを目指す。

【決算の状況】

(計画)

- 高齢者が気軽に安心して集える拠点となる場所を提供する(定例会月1回、作品作り年1回、茶話会年1回、法話講座年3回)。
- 交流活動(1回)・各教室(1回)等の事業を行う。又、視察研修(6月・1月計2回)等を通して様々な歴史や文化に触れ見解を深める。
- 百歳体操を通して健康増進に取り組む(毎週水曜)。
- ゴミ拾い、除草作業等の奉仕作業を計画(年3回)。

(実績) ①成果実績または活動実績

- 作品作り等を計画し、気軽に集える場所の提供ができた定例会10回、作品作り1回、茶話会1回、法話講座2回)。
- 交流会1回・教室(作品作り)1回・視察研修2回(6/21 広島平和記念資料館13名、11/15石谷家住宅16名)実施した。
- 百歳体操35回・95人参加。
- むつみ荘周辺2回(除草作業・ゴミ拾い・美化活動 6/19 10名、10/16 15名)、地区内1回(ゴミ拾い・美化活動11/20 10名)。

※光熱水費が想定より少額であった及び障子張り替えを前年度に実施したため。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				7 報償費	20,000	30,000
				10 需用費	124,094	89,971
				11 役務費	9,137	9,137
				12 委託料	30,993	31,460
				13 使用料及び賃借料	6,600	6,600
	一般財源	190,824	167,168			
	計	190,824	167,168	計	190,824	167,168

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	会員が気軽に参加しやすい事業(作品作り等)の回数を増やし、交流の場とする。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	視察研修では、参加者が増えてきている、会員に意見を聞きながら視察場所を検討する。
	解決すべき課題への方策	各事業の参加者を増やすため、参加しやすい方法を定例会等で検討しながら計画していく。

事業名	1	老人館運営事業	所属名	人権・社会教育課
-----	---	---------	-----	----------

単位:円

細節	予算額	決算額	内容
報償費	40,000	30,000	むつみ学園解放文化祭作品作り・法話講座謝礼
消耗品費	14,000	12,986	表示灯用電球、誘導灯用蛍光管等
燃料費	31,000	23,507	ガス料金
食糧費	5,000	3,270	むつみ学園活動時コーヒー等
光熱水費	76,000	50,208	水道代、電気代
施設修繕料	24,000	0	施設修繕なし(障子張り替え前年度実施のため)
火災保険料	10,000	9,137	建物災害共済継続委託分担金
保守点検委託料	20,000	19,800	消防設備点検(上田商事)
施設管理委託料	12,000	11,660	ガラス清掃(東亜建物管理)
使用料	7,000	6,600	再送信料金
合計	239,000	167,168	

②成果または活動の問題点

計画通りの事業は、出来たが参加者が固定化の傾向があり、さらなる呼びかけが必要。

款	7	土木費	項	5	公園費	目	1	公園管理費	会計名	一般会計
事業名	1	公園管理事業							所属名	人権・社会教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	西伯カントリーパーク利用者及び指定管理者						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	スポーツを通して人との繋がりの場として利活用し、利用者の心身の健康増進に繋がっている。施設の適正管理・維持の指導を行い、安全に使用できるようにする。						⑥歴史・文化及びスポーツの振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	施設の利用促進を図り、利用者(又は利用団体)の増加により、スポーツ活動を通しての交流や健康増進に繋げる。施設利用時の安全性を確保する。						「五つの挑戦」から見た位置づけ		
							④共生と防災のまちづくり			
						根拠法令・要綱等				
						南部町営西伯カントリーパーク条例 南部町公の施設の指定管理者の指定 手続等に関する条例				
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減						
	14,583,808 円	14,266,844 円	△ 316,964 円	△ 2.2 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度					
	14,586 千円	14,365 千円	△ 221 千円	△ 1.5 %	執行率	99.32	%			

【事業内容】

西伯カントリーパークの維持・管理を行い、スポーツ等を通して、住民の健康増進を図り、交流の場として提供する。

○指定管理者への管理委託(H21年度から指定管理委託実施)

委託期間…令和6年4月1日～令和9年3月31日(3年間)

○指定管理者 株式会社TKSS

【決算の状況】

(計画)

○業務委託

南部町営西伯カントリーパーク指定管理

委託先:株式会社TKSS

委託内容:西伯カントリーパーク管理業務

・施設の点検、補修、清掃

・施設の警備

・安全衛生管理

・施設利用者への応接

予約受付、窓口受付、使用料の徴収など

○指定管理者と連携し、有効利用を図る。

(実績)

①成果実績又は活動実績

○業務委託

南部町営西伯カントリーパーク指定管理

委託先:株式会社TKSS

(令和6年度から業者に委託)

委託内容:西伯カントリーパーク管理業務

・施設の点検、補修、清掃

定期的な草刈りや支障木の伐採

・施設の警備

安全確保のため、巡回等による警備を実施

・安全衛生管理

水質検査や浄化槽点検を実施する。

・施設利用者への応接

予約受付、窓口受付、使用料の徴収などを

実施した。

○相談があった野球場にて、運動会やグラウンドゴルフを
いたいという団体に対し、指定管理者と協議のうえ、
使用許可をし、利用者の増加に寄与した。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
21-1-4-1	カントリーパーク受水槽整備債(公共施設等適正管理推進事業債)	1,000,000	0	10 需用費	232,010	283,690
				11 役務費	41,758	41,758
				12 委託料	13,067,700	12,937,756
				13 使用料及び賃借料	35,640	35,640
				14 工事請負費	1,206,700	875,600
				15 原材料費	0	92,400
	一般財源	13,583,808	14,266,844			
	計	14,583,808	14,266,844	計	14,583,808	14,266,844

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	利用者及び近隣住民が、不便を感じないよう施設及び設備の維持管理を継続する。利用者数増や効率的な利用を確保するために、大会等の誘致に努める。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	施設及び設備の維持管理、施設利用管理を継続して指定管理者に委託する。
	解決すべき課題への方策	利用者数・利用料の増加を図るため、大会等の誘致や町内外への利用促進PRを指定管理者とともに行う。老朽化している設備や備品が多く、利用者の安全を確保及び利用増加を図るため、計画的に更新する必要がある。

事業名	1	公園管理事業	所属名	人権・社会教育課
-----	---	--------	-----	----------

○施設利用者・団体の増加を目指す。

○利用者数等推移

・テニスコート

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	1,205人	1,748人	1,776人
利用料(円)	205,840	293,725	283,110

・野球場

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	2,573人	4,286人	4,542人
利用料(円)	665,340	834,045	677,450

・多目的広場

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	0人	15人	20人
利用料(円)	0	620	620

・昨年度実績と比較し、利用者数は増えているが利用料が減っているのは、テニスコート及び野球場の減免団体での利用者数が増えたためである。

・遊具のある広場は、週末は家族連れの利用がある。

○施設の利用調整を行う。

・野球場等の年間利用調整会議

○施設の年間利用調整会議の実施

・野球場等年間利用調整会議:令和7年2月25日(火)

参加団体:18(申込団体:20)

(町民野球場、西伯カントリーパーク合同実施)

①利用調整会議の実施及び利用申込の提出案内
文書及び町HPで周知をする。

②利用調整会議にて、日程の決定。

・周辺集落(能竹、賀祥)との利用協定協議

・周辺集落との利用協定協議

賀祥区:令和7年3月30日(日)区総会に参加

能竹区:区長を協定協議を行う(総会はなし)

②成果または活動の問題点

・施設内設備の老朽化が認められる箇所があり、計画的に修繕していきたい。

単位:円

細節	予算額	決算額	内容
施設修繕料	362,000	283,690	テニスコート防風ネット
火災保険料	42,000	41,758	令和6年度建物災害共済継続委託分担金
施設管理 委託料	479,000	473,756	飲用水滅菌装置保守点検料(山陰オーヤラックス)136,056円 野球場内側溝清掃業務(管鳥工業)337,700円
指定管理料	12,464,000	12,464,000	指定管理料(株式会社TKSS)
借上料	36,000	35,640	AEDレンタル
工事請負費	875,600	875,600	樹木伐採及び処分
原材料費	106,000	92,400	黒混合土
合計	14,364,600	14,266,844	

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費	会計名	一般会計
事業名	1	社会教育委員報酬						所属名	人権・社会教育課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	社会教育委員						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	社会教育に関する幅広い視野を持ち、教育委員会や青少年育成に関して、助言や意見を述べるができる人材を育成する。						⑤生涯学習の推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	社会教育委員の会を開催し、地域の実情や課題などを社会教育行政に反映する。						「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								①なんぶ創生 根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減					
		172,200 円	159,900 円	△ 12,300 円	△ 7.1 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度				
		185 千円	173 千円	△ 12 千円	△ 6.5 %	執行率	92.43	%		

【事業内容】

- 社会教育委員は、南部町の社会教育に関する諸計画を立案するとともに、生涯学習及び青少年育成や家庭教育に関する各種事業について審議する。
- 多様な共同的環境でのコーディネータ的役割、住民の意向を行政や施策の運営に反映させるための学習課題の発見や意見具申を行う。
- 会議の開催だけでなく、町内のイベントや学校行事にも積極的に参加し、幅広く町民の学習課題の把握に努める。

【決算の状況】

(計画)

○社会教育委員の会

委員任期: 令和5年4月1日～令和7年3月31日
社会教育委員 15名

・委員構成

- ・学校教育及び社会教育の関係者
- ・家庭教育の向上に資する活動を行う方
- ・学識経験のある方

・内容: 社会教育委員の会を年6回開催

- ・令和6年度の社会教育計画について
- ・令和6年度の事業評価について
- ・地域振興協議会との連携、強化、充実
- ・家庭教育の今後の在り方
- ・青少年教育の今後の在り方
- ・他市町村の社会教育委員との連携
- ・地域学校協働活動の新たな展開

(実績)

①成果実績または活動実績

○社会教育委員の会

委員任期: 令和5年4月1日～令和7年3月31日
社会教育委員 14名(男9名、女5名)

(1名は令和6年4月1日から教育委員会事務局採用となったため、令和6年3月31日付で解嘱)

・委員構成

- ・学校教育及び社会教育の関係者 8名
- ・家庭教育の向上に資する活動を行う方 5名
- ・学識経験のある方 1名

・内容: 社会教育委員の会を年6回開催

第1回 4月23日 10名
令和6年度社会教育事業の目的・内容・予算について協議。

意見: 本会で取り組んでみたいことについて、他市町村委員との交流、本会の記録を残してはどうか。

第2回 6月27日 11名

社会教育施設等の活用について、現状把握を行った。

意見: 町内施設のバスツアーを企画、予約システムの導入をしてはどうか。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				1 報酬	172,200	159,900
	一般財源	172,200	159,900			
	計	172,200	159,900	計	172,200	159,900

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	社会教育委員の会で審議したことを具体的にまとめ、意見具申や政策提言を行う。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	小・中学生に対しアンケート調査を行い、社会教育施設等の利活用について引き続き検討する。
	解決すべき課題への方策	社会教育委員の会で審議した内容をホームページで公開し、アーカイブとして積み上げていく。

事業名	1 社会教育委員報酬	所属名	人権・社会教育課
<p>第3回 8月27日 10名 社会教育施設等の活用について、課題抽出を行った。 意見:夏休みに天萬庁舎を利用する児童・生徒が多かったため、子どもたちでルールを決めてはどうか。</p> <p>第4回 10月31日 11名 令和7年度予算作成に向けた事業計画について、協議を行った。 意見:ニーズにあった企画を行うため、学校や児童・生徒にヒアリングが必要。</p> <p>第5回 12月26日 7名 社会教育施設等の活用について、事業提案を行った。 意見:法勝寺一式飾りを学校の空き教室を使って製作する、防災や環境問題について取り組んではどうか。</p> <p>第6回 2月25日 10名 令和6年度社会教育事業の評価を行った。 意見:主催事業の参加者が固定化しているのではないかと。児童や保護者にアンケートをとってはどうか。</p> <p>報酬:年額12,300円×14名=172,200円 (1名は校長職務であるため、報酬の支払いなし)</p>		<p>報酬:年額12,300円×13名=159,900円 (1名は校長職務であるため、報酬の支払いなし)</p> <p>②成果または活動の問題点 「行動する社会教育委員」として、今まで多数の事業に参加してきたが、本会で話し合ったことを議事録としてまとめ、欠席委員への送付のみで、ホームページ等で公開しておらず、アーカイブとして会議の記録を保存していないことが問題点である。</p>	

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費	会計名	一般会計	
事業名	3	社会教育総務事務費					所属名	人権・社会教育課			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	社会教育委員、補助金交付団体					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	地域の実情を把握し、全国レベルの大会や研修に参加することで、社会教育に関する幅広い視野を持った人材や団体を育成する。					⑤生涯学習の推進				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	生涯学習の学習集団が、地域コミュニティーの核となるような社会教育を展開できる。地域づくりを担う人材の育成を図ることができる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ				
							①なんぶ創生 根拠法令・要綱等				
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		社会教育法 南部町社会教育関係団体等活動支援 事業補助金交付要綱					
	841,175 円	718,458 円	△ 122,717 円	△ 14.6 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減							
	1,212 千円	919 千円	△ 293 千円	△ 24.2 %							
				令和6年度執行率	78.18 %						

【事業内容】

- 南部町の社会教育体制の充実のため、「社会教育主事養成事業」に職員を派遣する。
- 社会教育委員及び社会教育関係者の自己研鑽を図るため各種研修会への参加を促す。
- 各種団体の活動を支援するため、補助金及び負担金を支出する。

【決算の状況】

(計画)

- 社会教育主事養成事業
 - ・社会教育主事講習B(鳥取会場)に職員または社会教育委員を1名派遣する。
- 各種研修会等への参加
 - ・中四国社会教育研究大会(徳島県)
 - ・鳥取県社会教育振興大会(倉吉市)
 - ・社会教育活動における先進地視察を行う。
 - ・社会教育委員の資質・能力の向上を図るため、社教情報を購入する。
- 負担金
 - ・鳥取県社会教育協議会負担金:7,000円

(実績)

- ①成果実績または活動実績
- 社会教育主事養成事業
 - ・職員1名を社会教育主事講習B(鳥取会場)へ派遣した。
- 各種研修会等への参加
 - ・中四国社会教育研究大会徳島大会 4名参加
 - ・鳥取県社会教育振興大会(倉吉市) 6名参加
 - ・社会教育活動における先進地視察を行う。
 - 生涯教育実践研究交流会(福岡県) 1名参加
 - 生涯学習研究実践交流会(広島県) 1名参加
 - ・年間2回発行の「社協情報」を購入し、社会教育委員の研修で活用した。
- 負担金
 - ・鳥取県社会教育協議会負担金:7,000円
 - 負担金を出した効果:県内の市町村教育委員会(19市町村)及び社会教育関係団体(13団体)で構成する本協議会は、県外への研修派遣補助、社会教育関係者研修や鳥取県社会教育振興大会兼社会教育委員研修会等を開催しており鳥取県の社会教育の振興発展に寄与することができる。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				8 旅費	55,800	93,300
				10 需用費	111,215	82,088
				13 使用料及び賃借料	40,060	18,500
				18 負担金補助及び交付金	634,100	524,570
	一般財源	841,175	718,458			
	計	841,175	718,458	計	841,175	718,458

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	生涯学習がまちづくりにつながるということを広く町民に啓発する。地域振興協議会との連携を密にし、ねらいの共有と事業の精選を行う。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	計画的に社会教育主事講習へ職員を派遣し、部局を超えた連携を生み出す。研修の機会を充実させ、社会状況の変化に対応した事業展開、団体支援を進める。
	解決すべき課題への方策	地域振興協議会や社会教育関係団体のそれぞれの団体の役割を改めて確認し、地域の核となる人材の育成やつながりづくり、地域づくりを進めていく。

事業名	3	社会教育総務事務費	所属名	人権・社会教育課
-----	---	-----------	-----	----------

・鳥取県社会教育委員連絡協議会:15,000円

・鳥取県社会教育委員連絡協議会:15,000円
負担金を出した効果:市町村の社会教育委員相互の連絡・協調を図り、県内の社会教育の推進に寄与することができる。

・西部町村社会教育協議会:18,200円

・西部町村社会教育協議会:18,200円
負担金を出した効果:西部地区7町村で構成する本協議会は、各町村の社会教育担務者が中心となり、リーダー合宿や研究大会、コンサートなどを開催するなど、各町村の社会教育実践者同士のつながりや体験的学習活動等を行うことができる。

○補助金

(南部町社会教育関係団体等活動支援事業補助金)

・南部町PTA連絡協議会補助金

交付目的:南部町内PTA相互の連絡調整及び情報交換、共通課題の解決や要望の実現を目的とした事業を実施するため。

交付先:南部町PTA連絡協議会

予算額:70,000円

○補助金

・南部町PTA連絡協議会補助金

交付目的:南部町内PTA相互の連絡調整及び情報交換、共通課題の解決や要望の実現を目的とした事業を実施するため。

交付先:南部町PTA連絡協議会

交付額:70,000円

【補助金積算の内容】

事業費総額85,022円に対する町助成。

・南部町青少年育成町民会議補助金

交付目的:青少年の健全な育成を目的とした啓発活動、防犯パトロール等の事業を実施するため。

交付先:南部町青少年育成町民会議

予算額:284,000円

・南部町青少年育成町民会議補助金

交付目的:青少年の健全な育成を目的とした啓発活動、防犯パトロール等の事業を実施するため。

交付先:南部町青少年育成町民会議

交付額:284,000円

【補助金積算の内容】

事業費総額284,010円に対する町助成。

・南部町子ども会育成連絡協議会補助金

交付目的:子ども体験事業や各集落の子ども会育成会の相互連携を実施するため。

交付先:南部町子ども会育成連絡協議会

予算額:240,000円

・南部町子ども会育成連絡協議会補助金

交付目的:子ども体験事業や各集落の子ども会育成会の相互連携を実施するため。

交付先:南部町子ども会育成連絡協議会

交付額:130,370円

【補助金積算の内容】

事業費総額304,505円に対する町助成。

単位:円

細節	予算額	決算額	内容
普通旅費	99,000	93,300	生涯教育実践研究交流会(福岡) 36,580 中四国社会教育研究大会(徳島) 36,800 生涯学習研究実践交流会(広島) 19,920
消耗品費	62,000	58,505	社会教育主事講習テキスト代 11,270 交流会資料代 14,000 社教情報 8,064 その他の消耗品 25,171
燃料費	50,000	23,583	中四国社会教育研究大会(徳島) 8,008 公用車ガソリン代 15,575
使用料	9,000	0	
通行料	64,000	18,500	中四国社会教育研究大会(徳島) 18,500
その他負担金	41,000	40,200	鳥取県社会教育協議会 7,000 鳥取県社会教育委員連絡協議会 15,000 西部町村社会教育協議会 18,200
その他補助金	594,000	484,370	町PTA連絡協議会 70,000 青少年育成町民会議 284,000 町子ども会育成連絡協議会 130,370
合計	919,000	718,458	

②成果または活動の問題点

社会教育主事講習を受講し、知識を習得することはできるが、事業の実践やネットワークの構築するための経験が不足していることが問題点である。

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費	会計名	一般会計	
事業名	4	スポーツ・文化表彰				所属名	人権・社会教育課				
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	スポーツ及び文化活動に携わる町民				総合計画における位置づけ					
	意図 (対象をどうするか)	スポーツ活動・文化活動において優秀な成績を収めた町民または町内勤務者を表彰することで、活動の発展を図っている。				⑥歴史・文化及びスポーツの振興 「五つの挑戦」から見た位置づけ					
	成果の視点 (どのような効果があるか)	優秀な成績を収めたものを表彰することによって、スポーツ・文化活動の振興に寄与する。 町内の個人・団体の活躍を広報する場となり、あわせて町内の小・中学生、高校生等の学生や一般(成人)への激励となる。				⑤行財政改革 根拠法令・要綱等 南部町教育委員会スポーツ・文化表彰規則 南部町教育委員会スポーツ・文化表彰実施要綱					
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減							
	85,217 円	102,611 円	17,394 円	20.4 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減							
	193 千円	193 千円	0 千円	0.0 %							
					令和6年度執行率	53.17 %					

【事業内容】

町内小・中学校、公民館、南部町総合型地域スポーツクラブ、地域振興協議会などから推薦を受けた個人・団体に対し、成績に応じて該当する賞を授与する。

【決算の状況】

(計画)

○ 報償費

受賞者に対し、表彰状及び副賞を授与する

・各特別賞、栄誉賞及び大賞:5人

4,400円×5個=22,000円

・殊勲賞:5人

3,300円×5個=16,500円

・各振興賞:60人

1,540円×60個=92,400円

・各奨励賞:65人

400円×65人=26,000円

・副賞(盾)文字入れ

10円×2,000文字=20,000円

○ 消耗品費

・手提げ袋 55円×130枚=7,150円

・賞状用紙 5,500円

・コピー代金 3,000円

(実績)

①成果実績または活動実績

○ 報償費

(単位:件)

	令和5年度	令和6年度	
スポーツ栄誉賞	2	1	令和6年度表彰式は令和7年3月2日(日)に実施。
文化栄誉賞	0	1	
スポーツ大賞	1	1	
文化大賞	2	1	
スポーツ殊勲賞	3	1	
スポーツ振興賞	24	29	
文化振興賞	13	22	
スポーツ奨励賞	12	12	
文化奨励賞	26	18	
スポーツ功労者賞	0	0	
文化功労者賞	0	0	
スポーツ特別賞	0	0	
文化特別賞	0	0	
計	83	86	

広報なんぶ(4月号)

○ 消耗品費

・手提げ袋 0円 他事業で作成した袋を使用

・賞状用紙 4,884円

・コピー代 817円

②成果または活動の問題点

高校生の推薦が、大会出場応援看板や総合型地域スポーツクラブからの推薦が中心となってしまいうため、事業の広報等の方法を検討する。

※見込んでいた人数よりも、受賞者が少なかったため。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				7 報償費	80,168	96,910
				10 需用費	5,049	5,701
	一般財源	85,217	102,611			
	計	85,217	102,611	計	85,217	102,611

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	スポーツ・文化活動の意欲向上や活躍の周知のため、有効な啓発方法(表彰式)を計画し、実施する。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	表彰を行い、スポーツ・文化の意欲向上を図り、地域貢献に寄与する。 被表彰者の姿を町全体に広報することで、さらなる活動への振興に寄与する。
	解決すべき課題への方策	推薦時及び表彰後の広報等の方法の工夫や、表彰者及び町民へより有効な啓発ができるように検討していく。

事業名	4	スポーツ・文化表彰	所属名	人権・社会教育課
-----	---	-----------	-----	----------

○予算執行状況

単位:円

細節	予算額	決算額	内容
報償費	177,000	96,910	副賞(盾・文房具)
消耗品費	16,000	5,701	賞状用紙、コピー代
合計	193,000	102,611	

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費	会計名	一般会計
事業名	5	二十歳の集い							所属名	人権・社会教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	今年度二十歳を迎える方						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	町全体で祝い、対象者の郷土に対する思いを高める。						⑦子どもが健やかに育つ環境づくり 「五つの挑戦」から見た位置づけ		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	同級生や地域の方と出会うことで、地域間のつながりの再確認ができ、Uターンや定住の意識づけができる。成人としての自覚を促し、意識を高める。青年団や高校生サークルの姿や、とっとり花回廊で実施することで、故郷南部町の魅力の再発見につながる。						②子育て環境の充実 根拠法令・要綱等 国民の祝日に関する法律		
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減						
	1,014,380 円	818,864 円	△ 195,516 円	△ 19.3 %						
前年度比較	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度執行率	84.33 %				
	1,176 千円	971 千円	△ 205 千円	△ 17.4 %						

【事業内容】

本町在住(住民基本台帳による)および出身者で、令和6年4月1日から令和7年4月2日までに満20歳に達する成人者の前途を祝い励ます。会場はとっとり花回廊で実施をする。

【決算の状況】

(計画)

○報償費

記念品 図書カード 242,000円

記念品 CD-ROM 283,140円

○需要費

記念植樹 30,000円

その他消耗品 14,400円

○役務費 48,000円

案内文書、出欠返信ハガキ

記念品郵送代 など

手話通訳料

○業務委託 303,000円

二十歳の集い機材レンタル業務

委託先:有限会社カナリア総合システム

委託内容:二十歳の集い実施に当たり、音響機材等のレンタル及び設置、撤収を行うもの。

○使用料及び賃借料

とっとり花回廊施設使用料 30,000円

(実績)

①成果実績または活動実績

○報償費

記念品 オリジナル図書カード 223,250円

記念品 写真データCD-ROM 236,808円

○需要費

記念植樹 19,800円 記念植樹看板 4,620円

その他消耗品 10,051円

封筒、コピー代など

○役務費

郵送料 27,970円

出欠返信ハガキ 8,075円

手話通訳は手配なし

○業務委託:257,290円

二十歳の集い機材レンタル業務

委託先:有限会社カナリア総合システム

委託内容:二十歳の集い実施に当たり、音響機材等のレンタル及び設置、撤収を行うもの。

○使用料及び賃借料

とっとり花回廊施設使用料 30,000円

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				7 報償費	602,317	460,058
				10 需用費	41,224	35,471
				11 役務費	38,449	36,045
				12 委託料	302,390	257,290
				13 使用料及び賃借料	30,000	30,000
	一般財源	1,014,380	818,864			
	計	1,014,380	818,864	計	1,014,380	818,864

今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容

二十歳を迎えた若者の姿を南部町教育の一つのゴール地点、義務教育後の一つの出口と考えることが重要である。引き続き、高校生サークル、新☆青年団のメンバーにもスタッフとして関わってもらう。

②次年度へ向けた次への行動・具体策

達成できた点をさらに伸ばす方策

対象者が年々減少傾向にあることから、南部町だからできる、南部町でしかできない内容を会場が花回廊という条件も踏まえて検討していく。

解決すべき課題への方策

近年、実行委員会が参画できていないため、事業の目的、内容等を再検討し、簡素化も必要である。また、DVDを再生できないパソコンがあり、全員が写真データを見ることができなという意見があったため、記念品について再検討が必要。

○二十歳の集い式典構成

町主催による式典、祝辞、記念品贈呈式
二十歳の参加者による記念植樹
高校生サークルと新☆青年団がスタッフとして
前日準備や当日運営や片付けに携わる。

○令和7年1月12日(日)開催

・参加者数 単位:人

	令和4年	令和5年	令和6年
対象者数	107	133	95
参加者数	86	98	82
参加率	80.37%	73.68%	86.32%

高校生サークルと新☆青年団がスタッフとして
前日準備や当日運営や片付けに携わった。
また大判焼きのふるまいで、式が盛り上がった。

[広報なんぶ2月号](#)

- ・式典当日は、8割を超える二十歳の方、多数のご家族の参加があった。
- ・高校生サークルと新☆青年団がスタッフとして前日準備や当日運営や片付けに携わった。
また、大判焼きのふるまいで、式が盛り上がった。

②成果または活動の問題点

記念品の写真データ入りのDVDが全てのパソコンで再生できない。記念品の再検討が必要。

○予算執行状況

単位:円

細節	予算額	決算額	内容
報償費	526,000	460,058	オリジナル図書カード、写真DVD
消耗品費	44,000	35,471	消耗品等
通信運搬費	68,000	36,045	開催通知、写真DVD等郵送料、ハガキ
その他の委託料	303,000	257,290	機器レンタル((有)カナリア総合システム)
使用料	30,000	30,000	とっとり花回廊施設使用料
計	971,000	818,864	

青年団による大判焼きのふるまいは、青年団の会計にて実施のため、予算には含まれない。

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費	会計名	一般会計	
事業名	6	アートスタート推進事業						所属名	人権・社会教育課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	未就学児及びその保護者						総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)	作品鑑賞の機会の提供し、子どもの豊かな感性と創造性を育む。						④保育及び学校・家庭教育の充実			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	子どもの潜在的な可能性を引き出し、豊かな感性と創造性を育むことができる。 芸術鑑賞の楽しさを知り、生活の中に文化・芸術を根付かせることにつながる。その後の鑑賞事業等への参加者の増加が期待できる。						「五つの挑戦」から見た位置づけ ②子育て環境の充実 根拠法令・要綱等			
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	鳥取県アートスタート活動支援事業補助金交付要綱 南部町社会教育関係団体等活動支援事業補助金交付要綱						
	278,000 円	300,000 円	22,000 円	7.9 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減							
	300 千円	300 千円	0 千円	0.0 %							
					令和6年度執行率	100.00 %					

【事業内容】

子どもの潜在的な可能性を引き出し、豊かな感性と創造性を育むことを目的に、町内の団体と連携し、未就学児を対象とした人形劇などの公演鑑賞等を提供する。
(歳入の補助金は県間接補助であり、間接補助割合は1/2(上限10万))

【決算の状況】

(計画)

○ 補助金

補助金名:南部町社会教育関係団体等活動支援事業補助金(事業名:アートスタートin南部町2024)
交付目的:幼児期に質の高い本物の芸術にふれることにより、子どもたちの豊かな感性を育める事業実施について支援するため。
交付先:おはなし・ドン
予算額:300,000円

(実績)

①成果実績または活動実績

○ 補助金

補助金名:南部町社会教育関係団体等活動支援事業補助金(事業名:アートスタートin南部町2024)
交付目的:幼児期に質の高い本物の芸術にふれることにより、子どもたちの豊かな感性を育める事業実施について支援するため。
交付先:おはなし・ドン
交付額:300,000円

【補助金積算の内容】

事業費322,000円に対する町助成。
・実施 10月22日(つくし保育園ゆうぎ室)
23日(キナルなんぶ多目的ルーム)
・実施団体 おはなし・ドン
共催 南部町立図書館
協力 NPO法人こども未来ネットワーク
・入場者数 114人(昨年度74人)
・開催会場を保育園に変更したところ、保育園側の移動の負担が減ったことで、対象年齢が年長児から未就学児全体に広がった。

②成果または活動の問題点

毎年継続して実施しているが、実施団体の体制を含め課題があり、その見直しが必要である。



(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
15-2-6-2	アートスタート活動支援事業補助金	100,000	100,000	18 負担金補助及び交付金	278,000	300,000
17-1-3-1	企業版ふるさと納税	150,000	0			
	一般財源	28,000	200,000			
	計	278,000	300,000	計	278,000	300,000

今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容

アートスタートは親子のふれあいや子どもたちの感性を育む点で効果的であり、今後も継続して実施していく必要がある。

②次年度へ向けた次への行動・具体策

達成できた点をさらに伸ばす方策

引き続き、関係機関が連携しながら実施する。未就学児や保護者が参加しやすい場所で開催を検討する。

解決すべき課題への方策

実施団体の努力で事業運営ができていますが、会員の高齢化も進んでおり、事業運営のやり方を検討していく必要がある。

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費	会計名	一般会計
事業名	7	家庭教育支援員配置事業						所属名	人権・社会教育課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	子育て世代					総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)	乳幼児期から成人期まで一貫したプログラムを基にした学びの場や子育て不安の解消に向けた相談の場を提供することにより、家庭の教育力の向上を図る。					⑦子どもが健やかに育つ環境づくり 「五つの挑戦」から見た位置づけ			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	保護者へのきめ細かい支援の充実とアウトリーチ型の支援など、切れ目のない継続的な家庭教育の支援体制を構築することで、安心して地域で子育てをすることができる。					②子育て環境の充実 根拠法令・要綱等 教育基本法 児童福祉法			
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		令和6年度執行率				
	577,859 円	738,087 円	160,228 円	27.7 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減						
	914 千円	1,061 千円	147 千円	16.1 %			69.57 %			

【事業内容】

- 家庭教育の支援と充実を図るため、乳幼児期から成人期まで一貫した「学びと成長のファイル」を基にした切れ目のない学びの場や子育て不安の解消に向けた相談の場を提供し、家庭における教育力向上を図る。
- 町の状況に即したアウトリーチ型の家庭支援の体制を整備し、子育て支援の推進に努める。
- 親子で触れ合い遊びができるような「みんな集まれ！あそぼう広場」や図書館と連携した木育フェスティバルを開催する。

【決算の状況】

- (計画)
- 仲間づくりの推進
 - ・「みんな集まれ！あそぼう広場」:年6回開催
 - 木工教室は木育の専門講師に依頼。
 - その他の5回はスポnetなんぶへ委託する。

(実績)

- ①成果実績または活動実績
 - 仲間づくりの推進
 - ・「みんな集まれ！あそぼう広場」:6回実施
 - 第3回木工教室は「木育サポート森のきこりん」を講師に迎え開催。
 - その他の5回はスポnetなんぶに委託して開催。

回数	開催日	内容	家庭数	人数
1	6月2日	自然観察	6	14
2	6月30日	プール遊び	7	14
3	8月4日	木工教室	17	45
4	11月10日	ウォークラリー	22	70
5	12月1日	火起こし、焼芋	7	22
6	3月2日	サッカー教室	13	33
計			72	198

[広報なんぶ6月号\(かぞくの日の周知\)](#)

[広報なんぶ1月号\(親子でウォークラリー\)](#)

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
15-2-6-2	家庭教育支援事業補助金	333,000	431,000	7 報償費	206,135	319,290
				8 旅費	11,100	62,780
				10 需用費	191,340	145,846
				11 役務費	4,284	3,921
				12 委託料	165,000	206,250
	一般財源	244,859	307,087			
	計	577,859	738,087	計	577,859	738,087

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	町が目指す「心豊かで自律した子どもの育成」への包括的な取り組みとして位置づけ、より保護者・家庭に寄り添った子育て支援・家庭教育支援を展開していく。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	関係機関と連携し、保護者の子育て不安の解消に向けた学びや相談の場を提供していくとともに、より寄り添った家庭教育支援として戸別家庭訪問を位置づけ実施する。
	解決すべき課題への方策	戸別家庭訪問がより有効的に機能していくよう保護者とのつながり作りの場を作るよう検討する。また、家庭教育支援チーム員の資質向上及び人材養成を継続する。

・木育フェスティバルの開催
親子で木にふれる機会を提供し、
里地里山である南部町の自然の良さを知る。

・木育フェスティバルの開催
8月25日(日)キナルなんぶで開催
指導者として3団体参加
・木育サポート森のきこりん(琴浦町)
・Ton-ton(安来市)
・鳥取CLT(南部町)
ワークショップ体験者 129名

○学びの提供
・子育てセミナー:保育園・こども園保護者(4回実施)
・孫育てセミナー:保育園・こども園祖父母(2回実施)
・こども発達支援セミナー:保育園・こども園(各園×2回)

○学びの提供
・子育てセミナー(孫育てセミナーを兼ねる)
4回実施 計94名
・こども発達支援セミナー
4回 計83名

○相談
関係機関等と連携した教育相談を行う。
アウトリーチ型による家庭教育支援を行う。
(小学1年生全78家庭が対象)

○相談
・家庭教育支援チームによる戸別の家庭訪問
【1回目】・・・77家庭訪問(9家庭不在)
【2回目】・・・78家庭訪問(11家庭不在)
【3回目】・・・78家庭訪問(5家庭不在)
事後アンケートの結果、88%の家庭が肯定的評価

○「かぞくの日」
・家族へ贈る漢字一文字
(小学6年生及びその保護者対象)

・いっしょに作ろう!親子料理レシピ

○「かぞくの日」
・家族へ贈る漢字一文字・・・3小学校82家庭参加
生涯学習作品展、てま里、南部っ子ストリートで展示
・生涯学習作品展でチーム書道を開催
・いっしょにつくろうワンプレートクッキング
12月15日(日)キナルなんぶで開催 7組15名参加
南部町楽食クラブと共催

[広報なんぶ12月号\(チーム書道\)](#)

○家庭教育支援チーム視察研修
・大阪府:能勢町・泉大津市
・全国家庭教育支援研究協議会(東京都)

○家庭教育支援チーム視察研修
・広島県生涯学習研究実践交流会
3月8日(土)広島県広島市
訪問支援員2名、事務局1名参加
・全国家庭教育支援研究協議会(オンライン研修)
2月7日(金)天萬庁舎3階会議室A
訪問支援員4名、基幹チーム員4名参加

単位:円

細節	予算額	決算額	内容
報償費	441,000	319,290	戸別家庭訪問支援員謝金 122,790 各種セミナー講師謝金 196,500
普通旅費	183,000	62,780	講師旅費 22,940 生涯学習研究実践交流会旅費 39,840
消耗品費	172,000	140,434	戸別家庭訪問啓発グッズ他 34,677 木工教室・木育フェスティバル 38,220 漢字一文字・チーム書道 43,592 その他の消耗品 23,945
燃料費	13,000	5,412	県内研修時ガソリン代
印刷製本費	22,000	0	
通信運搬費	4,000	3,921	各種案内郵送料
その他の委託料	207,000	206,250	みんな集まれ!あそぼう広場業務委託料(スポnetなんぶ)
使用料	4,000	0	
通行料	15,000	0	
合計	1,061,000	738,087	

②成果または活動の問題点
小学1年生の保護者には3回の訪問ができているが
他の学年の保護者にアプローチできていないことが
問題点である。

※大阪の視察研修を広島研修に変更したため
経費が削減され、執行率が低くなっている。

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費	会計名	一般会計	
事業名	8	高校生サークル魅力化事業					所属名	人権・社会教育課			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	当該サークルに所属する高校生等					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	各種社会教育活動を通して、所属高校生等の郷土愛を醸成する。					⑤生涯学習の推進				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	地域への愛着と誇りを持ち、地域を支える次世代のリーダーとなる人材を育成する。					「五つの挑戦」から見た位置づけ				
							①なんぶ創生 根拠法令・要綱等				
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		社会教育法 南部町社会教育関係団体等活動支援 事業補助金交付要綱					
	2,047,703 円	1,079,719 円	△ 967,984 円	△ 47.3 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減							
	2,210 千円	1,800 千円	△ 410 千円	△ 18.6 %							
				令和6年度執行率	59.98 %						

【事業内容】

- 「高校はないけど、高校生はいる！」をスローガンに、南部町に住む高校生で組織する「南部町高校生サークル With you 翼」が行う自主的・自発的に行う研修や交流の活動を支援する。
- 自分たちが楽しむだけの活動に留まらず、地域の事業に参画し、主体的に地域と関わることで、地域への愛着と誇りを持つ人材を育成する。(スーパーゴールデンウィーク事業の実施)
- ベトナムとの交流事業(町内企業との連携を模索)を通して、異文化に対する理解と認識を高めることで、改めて郷土と仲間の良さを再認識する機会を提供するだけでなく、世界規模で見る南部町を考えることができるグローバル(グローバル×ローカル)なまちづくりの担い手となる人材を育成する。(海外研修)

【決算の状況】

- (計画)
- 補助金
 - ・高校生サークル魅力化事業補助金
(南部町社会教育関係団体等活動支援事業補助金)
 - 交付目的:グローバルタウンNanbu・ベトナム研修及びスーパーゴールデンウィーク事業を実施するため。
 - 交付先:南部町子ども会育成連絡協議会(ジュニアサークルとして位置付けられているため)
 - 予算額:1,800,000円

(実績)

- ①成果実績または活動実績
- 補助金
 - ・高校生サークル魅力化事業補助金
(南部町社会教育関係団体等活動支援事業補助金)
 - 交付目的:グローバルタウンNanbu・東京研修及びスーパーゴールデンウィーク事業を実施するため。
 - 交付先:南部町子ども会育成連絡協議会
 - 交付額:1,079,719円
 - 【補助金積算の内容】
事業費総額1,190,319円に対する町助成。

スーパーゴールデンウィーク事業

【内容】

5月2日を体験的学習活動等休業日とし、小学生や中学生の居場所を作り、体験活動の場を中学生・高校生が主体となって企画・運営する。

スーパーゴールデンウィーク事業

【日程】令和6年5月2日実施

【来場者】キナルなんぶ 178名、宮前隣保館 117名

【スタッフ】50名(内、高校生サークル10名)

【内容】受付、バルーンアート、メダカすくい等を運営

【事業費総額】 228,637円

[広報なんぶ6月号](#)

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
17-1-3-1	企業版ふるさと納税	1,710,000	0	18 負担金補助及び交付金	2,047,703	1,079,719
18-2-4-1	さくら基金繰入金	337,703	1,079,719			
	一般財源	0	0			
	計	2,047,703	1,079,719	計	2,047,703	1,079,719

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	持続可能な地域づくりの基盤として、次世代のリーダーとなる高校生が地域で活躍することのできる事業を継続する。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	町内での活動だけでなく、県外・国外でも活動を行うことで、改めて南部町の良さを見直すきっかけとなり、地域への愛着や誇りを持ちながら、高校生サークルの活動を通じて、南部町の魅力を発信していく。
	解決すべき課題への方策	より主体的な活動が展開できるよう、高校生自身が考え、活動を行うことができるよう働きかけていく。

海外研修(ベトナム)

【日程】令和6年7月28～30日(2泊3日)

【参加者】10名(高校生8名:引率2名)

【参加者自己負担額】10,000円

【内容】

- ・町内で働くベトナムの方との交流を含めた事前、事後学習を行う。
- ・海外研修を通じて、世界から南部町を見つめ直しグローバルなまちづくりの担い手となる人材を育成する。

海外研修(ベトナム)を計画していたが、円高や物価高騰、安全性を考慮し、東京研修に変更。

【日程】令和6年7月28～31日(3泊4日)

【参加者】10名(高校生8名:引率2名)

【参加者自己負担額】10,000円

【内容】

- ・事前学習2回開催し、在留外国人の現状や支援、行先の選定、旅のしおり作りを行った。
- ・台湾フェスタ、迎賓館赤坂離宮、JICA地球ひろばカナダ大使館、国立西洋美術館等を見学。
- ・文京区の中高生の居場所「b-lab」を訪問し、利用している中高生と交流を行った。

【事業費総額】 961,682円

[広報なんぶ2月号\(二十歳の集いボランティア、伸びのびトーク\)](#)[広報なんぶ3月号\(活動の紹介\)](#)

活動実績

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
加入者数	30名	36名	33名
活動数	67回	67回	34回
参加のべ人数	251名	256名	129名

前年度、前々年度と比べ、活動数が減少したが、町内外のイベントに参加し、お手伝いをするという受け身の姿勢から、自分たちが考えて、活動を行うという自主的活動に注力したためである。

②成果または活動の問題点

1年ごとにメンバーが入れ替わるため、メンバー同士の交流や自発的な活動に取り組むために時間がかかることが問題点である。



※ベトナム研修と東京研修に変更した点、県の直接補助でとっとりユースアイデア実現補助金が活用できたことが執行率の低い原因である。

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費	会計名	一般会計
事業名	9	青年団活性化事業	所属名					人権・社会教育課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	18歳以上40歳未満の本町在住もしくは町内勤務の方					総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)	対象者の生活の質の向上を図る。 地域社会とのつながりを発展・継続させる。					⑤生涯学習の推進			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	青年団が主体的な活動を展開できるようになるとともに、若者が活躍できる町づくりが推進される。					「五つの挑戦」から見た位置づけ ①なんぶ創生 根拠法令・要綱等			
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		社会教育法 南部町社会教育関係団体等活動支援 事業補助金交付要綱	令和6年度 執行率			
	112,381 円	914,097 円	801,716 円	713.4 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減						
	867 千円	980 千円	113 千円	13.0 %			93.28 %			

【事業内容】

○教育振興基本計画の「めざす子ども像と社会の姿」の一つである「心をつなぎ 未来を拓くひとづくり」による重点施策として次代の町を担う人材の育成をもち、南部町新☆青年団「へんとづくり」に研修及び交流の機会を与え、グローバルな視点を有した人材を育成する。

【決算の状況】

(計画)

○補助金

・青年団活性化事業補助金
(南部町社会教育関係団体等活動支援事業補助金)
交付目的:香港で行われている持続可能なコミュニティづくりの取り組みと現地視察及びグローバルかつ文化的な地域活性化事業視察と現地若者との交流事業を実施するため。
交付先:南部町新☆青年団
予算額:980,000円

(実績)

①成果実績または活動実績

○補助金

・青年団活性化事業補助金
(南部町社会教育関係団体等活動支援事業補助金)
交付目的:香港で行われている持続可能なコミュニティづくりの取り組みと現地視察及びグローバルかつ文化的な地域活性化事業視察と現地若者との交流事業を実施するため。

交付先:南部町新☆青年団

交付額:914,097円

【補助金積算の内容】

事業費総額1,012,097円に対する町助成。

○海外研修(香港)

派遣期間:令和6年10月11日(金)～14日(月)

派遣者数:5名

派遣先:香港

研修・交流内容:地域おこし協力隊のネットワークを活用し、香港で地域再生を仕掛けておられる方を訪ね、現地の青年との交流を通して、グローバルな視点での地域づくりについて学ぶ。

○海外研修(香港)

【日程】令和6年10月11～14日(3泊4日)

【参加者】4名

【内容】

・地域住民による歴史保全のガイドツアーに参加。
・ライチーウォー村の活性化を担う団体の取組と歴史を知るプログラムに参加。
・Uターン者や移住者が営むカフェで新旧村民が取り組むまちづくりについて議論を行った。
・ユネスコ景観登録地でボランティア人材の受入について、インタビューを行った。

【事業費】653,456円(報償費、旅費他)

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
18-2-4-1	さくら基金繰入金	112,381	914,097	18 負担金補助及び交付金	112,381	914,097
	一般財源	0	0			
	計	112,381	914,097	計	112,381	914,097

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	先進的な活動を行っている団体との交流を継続し、行政に頼らない主体的な団体への変容を目指す。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	様々な団体や機関から連携に向けた声掛けがある中で、青年団自体の目的を見失うことなく、活動の幅を広げていく。
	解決すべき課題への方策	活動に参加する団員が固定化しているため、高校生サークルとして積極的に活動をしていた高校生が卒業後も引き続き青年団として地域で活躍するような人材を育成する。

○国内研修(徳島県石井町)

派遣期間:令和6年8月3日(土)～4日(日)

派遣者数:6名

派遣先:徳島県石井町

研修・交流内容:先進的な取り組みをしている徳島県石井町青年団が主体的な活動を展開する「石井町納涼まつり」にスタッフとして関わることで、青年団の自立に向けた具体的な方策を学ぶ。

青年団同士の交流を深め、さらなるネットワークの構築を図る。

○国内研修として徳島県石井町を計画していたが、3月に石井町から来町されることになったため、行先を変更し、島根県飯南町で青年団体との交流やしめ縄作り体験を行った。

【日程】令和7年1月25～26日(1泊2日)

【参加者】6名

【内容】

・島根県飯南町青年団体「とんぼ探検隊ふえふ」との交流。道の駅とんぼらで行われたスノーキャンドルの装飾作りに参加。

・大しめ縄創作館でしめ縄作り体験を行った。

【事業費】260,641円(報償費、旅費他)

○徳島県石井町青年団との交流

【日程】令和7年3月8～9日

【参加者】6名

【内容】

・てま里(天萬)でゲストハウスの宿泊準備の手伝い。

・法勝寺宿自治会の方から一式飾りの歴史や作り方の説明を受け、両団体で製作を行った。

・空き家利活用に携わったえん処明神谷(高姫)を案内し、拠点づくりや関係機関との連携について意見交換を行った。

○その他の事業

・さつまいもづくり

毎年取り組んでいるさつまいもの栽培を行い、収穫したいもを餡にして大判焼きを販売。

・大判焼きの販売、ふるまい

ねんりんピックや二十歳の集い、さくらまつりなどで大判焼きの販売・ふるまいを行い、地域の活性化や青年団の活動、新規加入者の獲得に向けたPRを行った。

[広報なんぶ5月号\(さくらまつりの出店\)](#)[広報なんぶ2月号\(香港研修報告\)](#)[広報なんぶ3月号\(活動紹介・新規加入者募集\)](#)

活動実績

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
加入者数	68名	69名	78名
活動数	89回	83回	47回
参加のべ人数	447名	356名	200名

②成果または活動の問題点

参加するメンバーが固定されていることが問題点である。



香港の地域活動団体と意見交換会



徳島県石井町と法勝寺一式飾りを制作

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費	会計名	一般会計
事業名	10	地域おこし協力隊活動支援事業						所属名	人権・社会教育課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	地域おこし協力隊						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	地域おこし協力隊の目指す活動を支援することによって、若者が活躍できる環境を醸成し、人づくりの循環を生み出す事業展開を図る。						⑤生涯学習の推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	町内の教育資源を活用し、小中学生も巻き込んだ高校生サークルや青年団の活動を仕掛けることで、社会教育の基盤を構築する。						「五つの挑戦」から見た位置づけ ①なんぶ創生 根拠法令・要綱等		
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		令和6年度執行率	99.98 %			
	3,555,750 円	4,204,200 円	648,450 円	18.2 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減						
	3,556 千円	4,205 千円	649 千円	18.3 %						

【事業内容】
○地域と積極的に関わることによって地域ニーズ・課題を把握し、関係団体や地域を超えたネットワーク等との協働を通じて地域課題の解決を図るとともに自身の目指す将来像を実現する。

【決算の状況】
(計画)
○業務委託
地域おこし協力隊活動支援事業
委託先:NPO法人なんぶ里山デザイン機構
委託内容:
・隊員の雇用に関する業務
・地域おこし協力隊1名を法人で雇用し、給与支給、社会保険、健康診断の受診を行う。
・隊員の指導管理
・隊員の活動に対する技術向上や生活支援等を行う。
・隊員の任期終了後、起業や定住できるようなアドバイスや実践的な支援を行う。
・南部町地域おこし協力隊の活動
・高校生サークル、新☆青年団の育成

(実績)
①成果実績または活動実績
○業務委託
地域おこし協力隊活動支援事業
委託先:NPO法人なんぶ里山デザイン機構
(令和5年6月1日から委託)
委託内容:
・隊員の雇用に関する業務
・地域おこし協力隊1名を同法人で雇用し、給与支給、社会保険、健康診断の受診を行った。
・隊員1名の指導管理
・隊員活動費を交付し、用途を確認、助言を行った。
・毎月の活動日誌を取りまとめ、ミーティングを実施し、事業の進捗管理を行った。
・南部町地域おこし協力隊の活動
・高校生サークルの東京研修の引率やWorld FestaNanbu'24の活動支援を行った。
・青年団の事務局として、会計の管理や事業の企画・運営のとりまとめを行った。
・えん処明神谷(高姫)を活用し、青年団の定例会を開催した。

[広報なんぶ4月号\(新☆青年団の活動紹介\)](#)

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				12 委託料	3,555,750	4,204,200
	一般財源	3,555,750	4,204,200			
	計	3,555,750	4,204,200	計	3,555,750	4,204,200

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	青年団の自立に向けた活動のサポートと提案を行いながら、地域おこし協力隊の任期を終了した後の活動を見据え、アートの取組を強化していく。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	県立美術館が開館し、鳥取県でアートへの関心が高まっている中、町民が広くアート作品に触れる機会を提供していく。
	解決すべき課題への方策	教育委員会事業を土台とし、小中学校での活動や放課後アートクラブの拡充、地域の資源や人材を広く活用していくことで、3年間の任期終了後も南部町に定住して自立した活動を維持する。

事業名	10 地域おこし協力隊活動支援事業	所属名	人権・社会教育課
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用した、小中学生対象の教育プログラムの開発を行う。 ・学校、地域、団体などをつなぐ中間支援組織の立ち上げ準備(調査)を行う。 ・各種研修会への参加。中間支援組織の視察を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・小学生向けの放課後アートクラブをキナルな んぶといこい荘で開催し、児童が制作した作品を生涯学習作品展で展示した。 (32回377名) 広報なんぶ7月号(アートクラブ) 広報なんぶ10月号(夏休みの小学生対象事業) ・とっとり定住機構や県内の地域おこし協力隊との連携、視察受け入れを行った。 広報なんぶ1月号(視察受入) ②成果または活動の問題点 3年間の任期終了後、南部町に定住して自立した活動を維持できるかが問題点である。

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費	会計名	一般会計	
事業名	1	南部町公民館運営費						所属名	人権・社会教育課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町民及び公民館施設						総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)	公民館の適切な維持管理及び運営を行い、生涯学習・交流の拠点としての役割を果たす。						⑤生涯学習の推進			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	公民館の維持管理は生涯学習に欠かせないため、施設管理により公民館機能の確保が図れている。						「五つの挑戦」から見た位置づけ			
								③健康長寿のまちづくり			
								根拠法令・要綱等			
								社会教育法、南部町公民館条例、南部町公民館規則、南部町複合施設条例、南部町複合施設管理規則			
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減							
	1,104,158 円	965,995 円	△ 138,163 円	△ 12.5 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度						
	1,280 千円	1,015 千円	△ 265 千円	△ 20.7 %	執行率	95.17 %					

【事業内容】

- 生涯学習を推進する拠点としての公民館運営を継続的に行う。
- 施設・備品の維持管理に必要な措置を講じる。

【決算の状況】

(計画)

- 公民館施設維持管理
 - ・ 富有まんでんホール稼働椅子保守点検業務委託
委託先:KSS株式会社
委託内容:稼働椅子保守業務・点検業務(年1回)
 - ・ 施設予約システムサービス利用調達業務
委託先:株式会社パストラレー
(令和3年度から長期継続契約)
委託内容:キナルなんぶ施設予約システム

(実績)

①成果実績または活動実績

- 公民館施設維持管理
 - ・ 富有まんでんホール稼働椅子保守点検業務委託
委託先:KSS株式会社
委託金額:354,200円
 - ・ 施設予約システムサービス利用調達業務
委託先:株式会社パストラレー
(令和3年度から長期継続契約)
委託金額:462,000円
予約管理のシステム化により、利用者の利便性が向上し、利用拡大につながっている。

(公民館利用実績)

年度	R4	R5	R6
人数(人)	15,479	17,822	17,732
回数(回)	1,447	1,430	1,609

利用回数は増加しているが、団体の構成員が減少しており、利用人数は伸びていない。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
13-1-5-2	公民館使用料	588,850	703,240	1 報酬	24,300	0
20-5-5-1	公民館コピー使用料	5,560	1,710	8 旅費	19,000	0
20-5-5-1	キナルなんぶ使用料納付書送料	1,008	1,468	10 需用費	69,920	60,646
				11 役務費	116,548	56,789
				12 委託料	772,200	816,200
				13 使用料及び賃借料	41,240	30,360
				17 備品購入費	59,950	0
				18 負担金補助及び交付金	1,000	2,000
	一般財源	508,740	259,577			
	計	1,104,158	965,995	計	1,104,158	965,995

今後に向けて

- ①今後の事業全体の方向性とその内容
地域課題や生活課題の把握を行い、その解決につながるような事業計画により、館運営を行う。生涯学習による人材育成や地域づくりを進める。
- ②次年度へ向けた次への行動・具体策
 - 達成できた点をさらに伸ばす方策
学校教育・社会教育に関わる拡大審議会を開催し、より多角的な視点で生涯学習に関わることが地域づくりの基盤となることを確認できた。生涯学習推進者を増やす取り組みを継続する。
 - 解決すべき課題への方策
利用者との連携が深まるよう、職員が複数人で関わる体制を検討する。

事業名	1	南部町公民館運営費	所属名	人権・社会教育課
-----	---	-----------	-----	----------

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 公民館備品管理 ○ 中国四国地区公民館研究集会への参加 ○ 県公民館連合会負担金
鳥取県公民館連合会 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 公民館備品管理
・公民館物品貸し出し ○ 中国四国地区公民館研究集会
香川大会1名参加 ○ 県公民館連合会負担金
負担金額:2,000円
負担金を出した効果:県公民館研究集会などの
大会へ参加でき、職員の資質向上に役立った。 |
|--|--|

単位:円

細節	予算額	決算額	内容
普通旅費	22,000	0	公民館研究集会宿泊費(発表者分として主催者負担)
消耗品費	63,000	17,828	コピー代金
通信運搬費	48,000	47,329	郵便料金
手数料	10,000	9,460	ピアノ調律(大田ピアノサービス)9,460
保守点検委託料	355,000	354,200	ホール移動観覧席保守点検(KSS株式会社)354,200
その他の委託料	462,000	462,000	キナル予約システム利用料(株パストラール)462,000
借上料	31,000	30,360	複合機リース(ケイズ)21,120、モップレンタル(ユカロン)9,240
使用料	5,000	0	大会参加駐車料金(発表者分として主催者負担)
通行料	17,000	0	大会参加高速通行料(発表者分として主催者負担)
その他負担金	2,000	2,000	県公民館連合会負担金
合計	1,015,000	923,177	

・公民館研究集会(香川大会)に発表者として参加したため、宿泊費、大会参加費用(駐車料金・通行料)は主催者負担とされた。

②成果または活動の問題点
公民館運営に携わる職員が毎年変わっており、利用者との連携や協力が進みにくいことが問題である。

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費	会計名	一般会計
事業名	2	公民館活動事業	所属名	人権・社会教育課						
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町民			総合計画における位置づけ					
	意図 (対象をどうするか)	教養の向上、健康増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉増進に貢献する。			⑤生涯学習の推進					
	成果の視点 (どのような効果があるか)	学習参加率や学習意欲の向上。学習内容が生活に役立ち、学習意欲につながる。			「五つの挑戦」から見た位置づけ					
					③健康長寿のまちづくり					
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	根拠法令・要綱等					
	623,642 円	353,047 円	△ 270,595 円	△ 43.4 %	社会教育法、南部町公民館条例、南部町立公民館規則、南部町社会教育関係団体等活動支援事業補助金交付要綱					
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度	73.71 %				
	767 千円	479 千円	△ 288 千円	△ 37.5 %	執行率					

【事業内容】

- 地域住民の学習活動、文化活動などを目的とした各種の講座や教室の開催、公民館学級運営を行う。
- 生涯学習の成果発表の場となるイベントの実施、情報提供などにより、生涯学習の普及啓発を行う。
- 施設の保守、貸し出し、予約など管理を行う。

【決算の状況】

(計画)

- 公民館学級の開催
ことぶき大学(年7回)
ひょうしぎ学級(年8回)
- 自主学習グループの育成及び活動支援
公民館教室の活動・成果発表の支援

新規教室の開催(なんぶなんでも探偵団)
- 青少年応援事業の実施
(夏休み体験教室、その他子ども向け企画)

(実績)

①成果実績または活動実績

- 公民館学級の開催
ことぶき大学 全7回・学生数37名・のべ121人
ひょうしぎ学級 全8回・学級生数60名
・のべ192人参加
講師謝金@5,000×6回=30,000円
- 自主学習グループの育成及び活動支援
公民館教室数 36グループ
(うち令和6年度新規開設教室:3グループ)
なんぶなんでも探偵団指導謝礼
@1,000×54時間=54,000円
輝く七色の虹コンサート出演謝金
@5,000×2団体=10,000円
なんぶっ子ストリーートの展示:20企画展
(美術展示10、啓発展示5、企画展示5)
- 青少年応援事業の実施
子ども短歌教室 全2回 5名参加
@2,500×2回=5,000円
木の工作(ペン立て) 6名参加
鳥取CLT見学 3名参加
夏休みニコニコ体験教室 7教室 31名参加
(子どもが公民館教室を体験し、教室生と相互に学びあった)

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
14-2-1-1	デジタル田園都市国家構想交付金	306,421	167,636	7 報償費	195,500	189,000
				8 旅費	102,060	6,260
				10 需用費	103,398	70,812
				13 使用料及び賃借料	121,000	0
				18 負担金補助及び交付金	101,684	86,975
	一般財源	317,221	185,411			
	計	623,642	353,047	計	623,642	353,047

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	地域や住民の生活課題を的確に捉え、その課題解決につながる事業展開を行う。住民同士が仲間づくりとしてつながる事業をコーディネートする。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	予定していた事業のほとんどを実施できた。今までに得ている学びのノウハウを活用しながら、固定化している生涯学習活動については新たな視点で見直す。
	解決すべき課題への方策	働く世代にどのようなニーズがあり、地域課題に結びついているのか把握するため、聞き取りを行う。

事業名	2	公民館活動事業	所属名	人権・社会教育課
-----	---	---------	-----	----------

- 公民館を考えるワークショップ開催
1回開催予定
- その他、公民館自主事業(講座)の企画・実施
- キナルまつりの開催
年1回開催予定
- 公民館まつり、生涯学習作品展の開催
公民館さくらまつり(年1回春開催)
生涯学習作品展(年1回秋開催)
- ふれあいチャリティー芸能大会、ほっとハートコンサートの開催(実行委員会への参画)
南部町社会教育関係団体等活動支援事業補助金
交付目的:社会教育の振興を目的に事業を行う団体への活動支援を行う。
・ふれあいチャリティー芸能大会補助金
交付先:ふれあいチャリティー芸能大会実行委員会
予算額:40,000円
・ほっとハートコンサート補助金
交付先:ほっとハートコンサート実行委員会
予算額:105,000円

- 公民館を考えるワークショップ開催
12月2日(月)開催:キナルなんぶ多目的ルーム
西部町村公民館職員・社会教育関係者24名参加
- その他、公民館自主事業(講座)の企画・実施
・演劇公演(劇団あり)
11月4日(月)開催:キナルなんぶ多目的ルーム
・南部町学校教育・社会教育合同拡大審議会
2月18日(火)開催:キナルなんぶ多目的ルーム
30名参加
- キナルまつりの開催 8月4日(日)
未来を創る課・図書館・公民館で連携し、イベント、コンサートなど実施することができた。
- 公民館まつり、生涯学習作品展の開催
さくらまつり 令和6年度内に開催なし
生涯学習作品展 10月26日(土)・10月27日(日)
43団体407作品を展示 来場者数650名
(様々な生涯学習の場面において、公民館としてコーディネートや支援を行うことができた。)
- ふれあいチャリティー芸能大会、ほっとハートコンサートの開催(実行委員会への参画)
交付先:ふれあいチャリティー芸能大会実行委員会
交付額:6,152円
8月31日(土)で準備をしたが、台風接近により中止。
交付先:ほっとハートコンサート実行委員会
交付額:80,823円
12月21日(土)開催:富有まんてんホール 8組出演
- ②成果または活動の問題点
生涯学習を身近に感じられていない方への働きかけが不足している。町民の考える地域課題がなにか把握できていない。

単位:円

細節	予算額	決算額	内容
報償費	211,000	189,000	公民館学級等講師謝金30,000、公民館教室指導謝礼59,000、コンサート出演謝金10,000、公演謝金(劇団あり)10,000、公民館ワークショップ謝金(山川肖美)50,000、拡大審議会講師謝金(斎藤明彦)30,000
普通旅費	8,000	6,260	公民館教室・拡大審議会講師旅費
消耗品費	62,000	61,930	コピー代金、PPC用紙ほか
燃料費	19,000	8,882	館外研修等バス燃料費
食糧費	1,000	0	
借上料	33,000	0	ふれあいチャリティー芸能大会音響借上料(開催中止)
その他補助金	145,000	86,975	ふれあいチャリティー芸能大会(6,152)、ほっとハートコンサート(80,823)
合計	479,000	353,047	

※ふれあいチャリティー芸能大会が中止となったため、音響借上料の支出がなかった。

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費	会計名	一般会計		
事業名	3	土曜日の教育支援					所属名	人権・社会教育課				
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町内の小中学生					総合計画における位置づけ					
	意図 (対象をどうするか)	生きがいつくり、人づくりを目指し、文化活動の充実、学習機会の拡充、また次世代を担う青少年の人材育成を図る。					⑤生涯学習の推進					
	成果の視点 (どのような効果があるか)	土曜日を有効利用して子どもたちの体験の場、地域の方とのふれあいの場を提供し、生きる力を備えた青少年を育成する。					「五つの挑戦」から見た位置づけ					
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	社会教育法 鳥取県学校・家庭・地域連携協力推進 事業費補助金交付要綱							
	120,919 円	77,015 円	△ 43,904 円	△ 36.3 %								
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					令和6年度	39.70 %		
	132 千円	194 千円	62 千円	47.0 %					執行率			

【事業内容】

- 土曜日等の休日に、子ども向けの体験事業を開催し、学校では体験することのできない学びを提供する。地域の大人が先生になり、学びを循環させ、子どもたちにつなげる。
(歳入の補助金の補助割合は2/3)

【決算の状況】

(計画)

- はんどん楽校(4教室)
 - ・日本の文化を体験しよう(3回) 着物着付
 - ・アウトドアで楽しもう(4回) たき火、そば打ちほか
 - ・オンリーワンのものづくり(4回) 小物作成
 - ・パティシエ教室(4回) 協力してお菓子づくり
- わんぱくリーダー塾(冬1回開催)

(実績)

- ①成果実績または活動実績
 - はんどん楽校(4教室・全13回)
 - ・日本の文化を体験しよう(3回・1名)
 - ・アウトドアで楽しもう(3回・2名) 参加者都合で減
 - ・オンリーワンのものづくり(3回・11名) 講師都合で減
 - ・パティシエ教室(4回・6名) 協力してお菓子づくり
(参加児童の積極性や自立心が育まれ、技能向上が認められる。)
 - わんぱくリーダー塾
 - ・2月8日に予定したが、大雪警報により開催を中止。

単位:円

細節	予算額	決算額	内容
報償費	65,000	65,000	はんどん楽校講師謝金4名・13回×@5000円
消耗品費	30,000	12,015	コピー料金、カラーペーパー代金、木工用ボンド、グルーガン
借上料	99,000	0	わんぱくリーダー塾バス借上料(開催中止)
合計	194,000	77,015	

②成果または活動の問題点

- ・活動の継続性を持つような仕組みが不十分であり技能の底上げや地域への還元に至っていない。
- ・成果発表の場がなく、達成感を体感できなかった。

※予定していたわんぱくリーダー塾が中止になり、バス借上料が不要となったため。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
15-2-6-2	土曜日等の教育活動実施事業費補助金	76,000	51,000	7 報償費	84,440	65,000
17-1-3-1	企業版ふるさと納税	40,000	0	10 需用費	36,479	12,015
				13 使用料及び賃借料	0	0
	一般財源	4,919	26,015			
	計	120,919	77,015	計	120,919	77,015

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	ニーズ把握と企画の再検討により、子どもたちの活動事業を継続的に実施できるよう取り組む。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	学校では学べない活動機会を提供することにより、様々なスキルを体得できた。今後は年間通してのスキルアップが達成できるよう、事業内容を充実する。
	解決すべき課題への方策	地域還元の一つである成果発表について、企画の段階で検討を行う。

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費	会計名	一般会計
事業名	4	公民館運営審議会委員報酬						所属名	人権・社会教育課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	公民館運営審議会委員						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	公民館における各種の事業の企画実施に係る調査・審議を行い、公民館活動の充実を図る。						⑤生涯学習の推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	公民館における各事業の現状を把握し、問題点や課題の審議を行うことで、町民や利用者の意見を反映した公民館活動を行うことができる。						「五つの挑戦」から見た位置づけ ③健康長寿のまちづくり 根拠法令・要綱等		
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		令和6年度執行率	68.61 %			
	0 円	83,700 円	83,700 円	100.0 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減						
	0 千円	122 千円	122 千円	100.0 %						

<p>【事業内容】 社会教育法第29条の規定により、公民館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施について、調査審議を行う。</p> <p>【決算の状況】 (計画) ○公民館運営審議会 委員任期:令和6年6月1日～令和8年5月31日 公民館運営審議会委員 10名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員構成 <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育及び社会教育の関係者 ・家庭教育の向上に資する活動を行う方 ・学識経験のある方 ・内容:公民館運営審議会を年5回開催 <ul style="list-style-type: none"> ・公民館運営及び事業の調査・評価を行う。 ・子どもから高齢者までのあらゆる町民のニーズに応じ、町民の身近な施設としてコミュニティづくりに努めているか検証する。 ・社会教育連携推進部会と学校教育連携推進部会の2部会を構成し、社会教育委員、学校運営協議会(CS)委員との情報共有、意見交換を通して、公民館活動の在り方や意義を検証する。 		<p>(実績) ①成果実績または活動実績 ○公民館運営審議会 委員任期:令和6年6月1日～令和8年5月31日 公民館運営審議会委員 8名(男5名、女3名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員構成 <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育及び社会教育の関係者 5名 ・家庭教育の向上に資する活動を行う方 1名 ・学識経験のある方 2名 ・内容:公民館運営審議会を年5回開催 <ul style="list-style-type: none"> 第1回 7月24日 7名 昨年度の振り返りと今年度の計画について協議。 意見:委嘱状の交付、役員(会長・副会長)の選出を行った。公民館活動の成果、審議会の意見がどのように反映されたかが見えにくい。 第2回 9月30日 7名 公民館と学校教育の連携推進について協議。 意見:参加しやすいように二次元コードでの事業申込やSNSで情報を発信してみてもどうか。子どもが参加しやすい場所の設定が必要ではないか。 	
---	--	---	--

(歳入内訳 単位:円)				(歳出内訳 単位:円)			
款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	
				1 報酬	0	83,700	
	一般財源	0	83,700				
	計	0	83,700	計	0	83,700	

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	公民館運営審議会にて審議したことを具体的にまとめ、政策提言を行う。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	公民館活動における社会教育・学校教育とのつながりが強化できるよう、引き続き連携を図る。
	解決すべき課題への方策	青少年層・壮年層・高齢者層のそれぞれの課題を整理し、これまで、今、これからの公民館活動の在り方について検討し、政策提言を行う。

事業名	4 公民館運営審議会委員報酬	所属名	人権・社会教育課
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>第3回 10月22日 5名 公民館と社会教育の連携推進について協議。 意見: 公民館教室で学んだことの成果として地域にアウトプットすること、受動的な学びだけでなく地域に貢献することを掲げてはどうか。</p> <p>第4回 12月11日 6名(他の委員4名 計10名) 公民館と社会教育・学校教育とのつながりについて、社会教育委員、学校運営協議会長、CS委員会長も参加し社会教育連携推進部会と学校教育連携推進部会にわかれ、協議、意見交換、全体共有を行った。 意見: 公民館教室の新規開設で「仲間が5名集まったら公民館の施設を無料で使うことができる」という広報を行うこと、中学生は参加者からボランティアスタッフに回って活動してもらってはどうか。</p> <p>第5回 2月27日 7名 今年度の振り返りと提言の素案について協議を行った。 意見: 町民の生活に直結する課題を捉え、課題の解決につながる事業を展開することや、講座の再構築も必要ではないか。</p> <p>○報酬: 2,700円×9名×5回=121,500円 (1名は校長職務であるため、報酬の支払なし)</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>○報酬: 2,700円×31回分=83,700円 (1名は校長職務であるため、報酬の支払なし)</p> <p>社会教育委員・学校運営協議会・CS委員会との意見交換を行ったことで、幅広く議論を行うことができた。</p> <p>②成果または活動の問題点 提言書のような形で残していないことが問題点である。</p> <p>広報なんぶ7月号(公民館運営審議会委員の紹介)</p> <p>※審議会への委員出席人数が、計画より下まった為、執行率の低下となった。</p> </div> </div>			

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	3	文化財保護費	会計名	一般会計	
事業名	1-1	文化財保護審議会委員報酬						所属名	人権・社会教育課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	文化財保護審議会委員						総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)	文化財保護審議会は、教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用に関する事項について調査審議し、建議する。						⑥歴史・文化及びスポーツの振興 「五つの挑戦」から見た位置づけ			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	町の文化財行政を審議し意見をいただくことで、文化財の活用など方向性を決定することができる。						⑤行財政改革 根拠法令・要綱等 文化財保護法 南部町文化財保護審議会条例 南部町特別職の職員で非常勤のもの の報酬及び費用弁償に関する条例			
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		令和6年度執行率					
	37,800円	35,100円	△2,700円	△7.1%							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減							
	38千円	38千円	0千円	0.0%							

【事業内容】

- 文化財保護審議会を開催し、町の文化財保護行政について審議し、適宜助言をいただく。
- 委員は7名で文化財の分野別に選出している。
- 委員任期:令和4年10月1日～令和6年9月30日、令和6年10月1日～令和8年9月30日

【決算の状況】

(計画)

- 文化財保護審議会
回数:2回
委員任期:令和4年10月1日～令和6年9月30日
令和6年10月1日～令和8年9月30日
2,700円×7人×2回=37,800円

(実績)

- ①成果実績または活動実績
- 文化財保護審議会
委員任期:令和4年10月1日～令和6年9月30日
令和6年10月1日～令和8年9月30日
審議委員7名(男4名、女3名)
・第1回:令和6年6月24日(金)午前 出席委員6名
(意見交換)
・5年度の文化財事業の報告と6年度の文化財事業計画
・第2回:令和7年2月26日(金)午後 出席委員7名
(意見交換)オオサンショウウオの飼育について
<意見>適正に管理できる体制の検討が必要。
○報酬 (6名+7名)×2,700円=35,100円

②成果または活動の問題点

- ・各分野からの有識者にて構成されているため、委員への町内文化財全般の情報共有が不足している。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				1 報酬	37,800	35,100
	一般財源	37,800	35,100			
	計	37,800	35,100	計	37,800	35,100

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	委員の豊富な知見を活用し、文化財の保存活用・保護に意見をいただき、町民への文化財保護への啓発活動に活かす。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	新たな委員を迎え、さらに幅広い分野の知見が集まった。引き続き文化財保護への意見をいただく。
	解決すべき課題への方策	委員へ町内文化財全般の情報を共有し、共通認識を図る。

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	3	文化財保護費	会計名	一般会計	
事業名	1-2	文化財保護事業					所属名	人権・社会教育課			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	①町民②補助金交付先の団体または個人					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	①町内文化財の保存・活用を行うことで、ふるさとを大切に思う気持ちを養い、地域を誇れる町民を増やす。 ②文化財を適切に保存・管理する。					⑥歴史・文化及びスポーツの振興 「五つの挑戦」から見た位置づけ				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	町内文化財の保存・活用を行うことで、ふるさとを大切に思う気持ちを養い、地域を誇れる町民を増やす。 各集落にある文化財の確認を行う。					⑤行財政改革 根拠法令・要綱等 文化財保護法、南部町文化財保護条例、南部町文化財保存管理費補助金交付要綱				
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		令和6年度執行率					
	5,611,453 円	1,865,751 円	△ 3,745,702 円	△ 66.8 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減							
	5,869 千円	2,587 千円	△ 3,282 千円	△ 55.9 %							

【事業内容】

- 文化財、特別天然記念物等の保護、管理を適正に行う。
- 法勝寺電車の保全のため、電車ひろばの警備委託を行う。
- 文化財関係団体との連携をはかり、必要な作業・業務を実施する。
- 町指定文化財の保護・管理のために草刈り等の管理作業を行う地区や個人に対し補助金交付する。
- 無形民俗文化財の保存・継承のため、保存会活動を支援する補助金を交付する。
- なんぶふれあい館運用管理を行う。
- 法勝寺電車ジオラマの管理のためメンテナンスを行う。

【決算の状況】

(計画)

- 法勝寺電車開通100周年記念イベント
- なんぶふれあい館運営管理

- ・ 法勝寺電車ジオラマメンテナンス業務
委託先: 東田電工
委託内容: ジオラマ清掃・調整(年4回)
- ・ 剥製作成業務
委託先: 浜本標本
委託内容: ニホンリスの剥製制作

(実績)

- ①成果実績または活動実績
- 法勝寺電車開通100周年記念イベント(8/12)
- なんぶふれあい館運営管理
年間入館者数: 21,296名 (R5度: 23,528名)
(来館者の減少は館事業のアピール不足と、展示内容の恒常化が考えられるため、企画の再検討が必要。)
- ・ 法勝寺電車ジオラマメンテナンス業務
委託先: 東田電工
委託金額: 119,900円
委託内容: ジオラマ清掃・調整(年4回)
- ・ 剥製作成業務
委託先: 浜本標本
委託金額: 40,350円
委託内容: ニホンリス(1体)の剥製制作

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
17-1-3-1	企業版ふるさと納税	500,000	200,000	7 報償費	120,000	65,000
18-2-4-1	さくら基金繰入金	841,500	746,900	8 旅費	47,750	67,325
				10 需用費	601,553	126,900
				11 役務費	127,550	95,576
				12 委託料	512,600	585,050
				13 使用料及び賃借料	38,500	0
				14 工事請負費	2,909,500	746,900
				18 負担金補助及び交付金	1,254,000	179,000
	一般財源	4,269,953	918,851			
	計	5,611,453	1,865,751	計	5,611,453	1,865,751

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	町指定文化財は集落・保存会・個人など様々な方が保存・伝承し、文化財保護の啓発を行っている。なんぶふれあい館を活用し、文化財保護の啓発を行う。文化財保護のため、適時、適切な対応を行う。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	法勝寺電車開通100周年としてイベント開催ができた。文化財の今後の活用方法について検討し、中期的な計画を検討する。
	解決すべき課題への方策	文化財資料の整理と同時に収蔵場所の検討をすすめる。文化財全般において情報発信を充実させるよう、掲載情報の検討を行う。

事業名	1-2 文化財保護事業	所属名	人権・社会教育課
-----	-------------	-----	----------

- 法勝寺電車ひろば管理
 - ・法勝寺電車展示場監視カメラシステム委託業務
委託先:大同警備保障有限会社
委託内容:監視カメラシステムによる警備
- 特別天然記念物等保護事業(オオサンショウウオほか)
 - ・特別天然記念物等保護事業委託
委託先:なんぶハンザキ調査隊
委託内容:オオサンショウウオの保護・啓発事業
- 樹木診断調査委託
- 文化財説明看板・標柱設置修繕工事
- 県及び町指定文化財保護のための補助金の交付
(史跡8件、名勝1件、天然記念物4件、保護文化財6件)
 - ・南部町文化財保存管理費補助金
交付目的:文化財保護のため管理・状況報告をする。
交付先:個人(5)、団体・集落(7)
予算額:169,000円
- 県及び町指定文化財保存会活動補助金の交付
 - ・指定文化財管理費補助金(小松谷盆踊保存会)
交付目的:伝統文化の継承を目的とした管理を行う。
交付先:小松谷盆踊保存会
予算額:50,000円
 - ・指定文化財管理費補助金(法勝寺一式飾り)
交付目的:文化財の継承を目的とした管理を行う。
交付先:法勝寺宿自治会
予算額:350,000円

- 法勝寺電車ひろば管理
 - ・法勝寺電車展示場監視カメラシステム委託業務
委託先:大同警備保障有限会社
委託金額:184,800円
委託内容:監視カメラシステムによる警備
- 特別天然記念物等保護事業(オオサンショウウオほか)
 - ・特別天然記念物等保護事業委託
委託先:なんぶハンザキ調査隊
委託金額:240,000円
委託内容:オオサンショウウオの保護・啓発事業
- 樹木診断調査委託
今年度該当樹木ないため、未実施。
- 文化財説明看板・標柱設置修繕工事
説明看板1基、標柱2基、看板修繕2か所
- 南部町文化財保存管理費補助金(個人2・集落7)
 - ・南部町文化財保存管理費補助金
交付先:個人(2)、団体・集落(7)
交付額:129,000円
- 県及び町指定文化財保存会活動補助金の交付
 - ・指定文化財管理費補助金(小松谷盆踊保存会)
交付先:小松谷盆踊保存会
交付額:50,000円
【補助金積算の内容】
事業費223,000円に対する町助成。
 - ・指定文化財管理費補助金(法勝寺一式飾り)
年度内にさくらまつりの実施がなかったため、
法勝寺宿自治会への補助金支出なし。

単位:円

細節	予算額	決算額	内容
報償費	65,000	65,000	電車記念講演謝金(堤一郎)50,000、 オオサンショウウオ現地指導謝礼(岡田純)15,000
普通旅費	72,340	67,325	電車記念講演講師旅費(堤一郎)50,440、 オオサンショウウオ大会発表者旅費(桐原真希)16,885
消耗品費	104,636	104,536	コピー代金、PPC用紙、電車イベント用消耗品
光熱水費	22,364	22,364	電気代10,484、水道料金11,880
備品修繕料	50,000	0	なんぶふれあい館展示品修繕
通信運搬費	11,000	5,376	郵便料金
手数料	100,000	90,200	廃棄物処理(三光株式会社)99,000
施設管理委託料	185,000	184,800	電車ひろば防犯カメラ(大同警備保障)184,800
その他の委託料	431,000	400,250	展示品メンテナンス(東田電工)119,900、 特別天然記念物等保護(なんぶハンザキ調査隊)240,000、 はく製制作(浜田標本)40,351
工事請負費	748,000	746,900	文化財説明看板・標柱設置修繕工事(増田工務店)746,900
その他補助金	797,660	179,000	町文化財保存管理費補助129,000、指定文化財管理50,000
合計	2,587,000	1,865,751	

②成果または活動の問題点
文化財資料が数か所に分けて保管されているため、
資料照会や借用依頼の対応に時間がかかる。
また、啓発に有効な文化財情報が少ないため、町民に
周知できていない。

※令和6年度内にさくらまつりの実施がなかったため、
法勝寺宿自治会への補助金支出がなかった。

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	3	文化財保護費	会計名	一般会計	
事業名	2	板祐生記念館活動事業					所属名	人権・社会教育課			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町民及び町外来館者					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	板祐生の孔版画や蒐集品を展示し、祐生作品の芸術性の高さを伝えていくとともに、明治から昭和の貴重な収集品による文化の継承を行う。					⑥歴史・文化及びスポーツの振興				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	特別展・企画展の内容について工夫を凝らし、様々な方法を用いて周知していく。					「五つの挑戦」から見た位置づけ ④共生と防災のまちづくり 根拠法令・要綱等				
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減							
	8,042,830 円	5,080,969 円	△ 2,961,861 円	△ 36.8 %							
前年度比較	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度						
	8,212 千円	5,308 千円	△ 2,904 千円	△ 35.4 %	執行率	95.72 %					

【事業内容】

- 板祐生のコレクションの一般公開(常設展及び入替え)
- 定期的なコレクションの紹介展示及び他館・他者との連携による特別展の開催
- 報道機関、広報誌を活用し特別展・企画展のPRを行う
- 掛軸の修復、ポスターを複製し、収蔵品の適切な管理を行う

【決算の状況】

(計画)

- 特別展(7企画)・企画展(6企画)の開催

○ 広報PR

- ・ 広報なんぶへの記事の掲載(4月～3月)
- ・ 「山陰広域観光マップ」掲載(年1回)
- ・ BSSラジオ(年1回)
- ・ ダラズFM(年3回)

○ 保守点検委託料

- ・ 自家用電気工作物保安管理業務委託
委託先: 前田電気管理事務所
委託内容: 電気設備の安全を守るために点検や検査を行う

(実績)

① 成果実績または活動実績

- 特別展・企画展の開催

- ・ 特別展 7企画

「パッチワーク 河瀬かず江と仲間たち展」
「満州国ポスター展」等

- ・ 企画展 6企画「リニューアル掛軸展」等

- 入館者数 3,060名(参考・令和5年度:3,191名)

- ・ (企画展・特別展の開催のみになっている。展示以外に入館者数を増やす企画の実施を検討。)

○ 広報PR

- ・ 広報なんぶへの記事の掲載(4月～3月)
- ・ 「山陰広域観光マップ」掲載(4月発行)
- ・ BSSラジオ(6月)
- ・ ダラズFMスポット放送(5月、9月、3月)

○ 保守点検委託料

- ・ 自家用電気工作物保安管理業務委託
委託先: 前田電気管理事務所
委託金額: 150,000円

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
13-1-5-2	板祐生記念館活使用料	577,820	542,710	7 報償費	15,000	15,000
18-2-4-1	さくら基金繰入金	100,000	1,385,540	10 需用費	3,003,012	2,852,976
20-5-5-1	板祐生記念グッズ代	1,900	200	11 役務費	679,292	626,703
20-5-5-1	板祐生記念館収入金	96	89	12 委託料	1,280,218	1,316,660
21-1-6-1	板祐生記念館活動事業債	2,400,000	0	13 使用料及び賃借料	247,308	267,630
				14 工事請負費	2,728,000	0
				17 備品購入費	88,000	0
				18 負担金補助及び交付金	2,000	2,000
	一般財源	4,963,014	3,152,430			
	計	8,042,830	5,080,969	計	8,042,830	5,080,969

今後に向けて	① 今後の事業全体の方向性とその内容	板祐生の記念館として祐生の研究推進。あり方検討会や、個別施設計画をもとに館の今後のあり方について検討していく必要がある。
	② 次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	企画展を実施することによって、収蔵物の活用ができた。よって今後はデジタル化を図り館全体の情報発信を充実させる。
	解決すべき課題への方策	館運営の方針、修繕について、収蔵物のデジタルアーカイブ化なども視野に入れサービスの提供の検討を行う。町民に足を運んでいただけるよう親しみやすい企画を検討する。

事業名	2	板祐生記念館活動事業	所属名	人権・社会教育課
-----	---	------------	-----	----------

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 浄化槽維持管理業務
委託先:みつわ環境開発(株)
委託内容:浄化槽の維持管理 ・ 消防用設備点検委託
委託先:上田商事
委託内容:消防設備の点検 ・ 機械警備委託
委託先:北陽警備保障
委託内容:施設の機械警備 ・ 浄化槽清掃委託
委託先:みつわ衛生社
委託内容:浄化槽の清掃 <p>○その他の委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 板祐生記念館掛軸修復業務
委託先:HATA Studio
委託内容:掛軸の修復(7点) <ul style="list-style-type: none"> ・ ポスター複製委託業務
委託先:(有)青光社
委託内容:ポスターの複製(10点) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 浄化槽維持管理業務委託
委託先:みつわ環境開発(株)
委託金額:48,400円 ・ 消防用設備点検料
委託先:上田商事
委託金額:126,500円 ・ 機械警備委託
委託先:北陽警備保障
委託金額:277,200円 ・ 浄化槽清掃委託
委託先:みつわ衛生社
委託金額:190,080円 <p>○その他の委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 板祐生記念館掛軸修復業務
委託先:HATA Studio
委託金額:491,480円
(リニューアル掛け軸展を実施できた) <ul style="list-style-type: none"> ・ ポスター複製委託業務
委託先:(有)青光社
委託金額:33,000円 |
|---|--|

<p>○負担金 鳥取県ミュージアムネットワーク負担金</p>	<p>○負担金 鳥取県ミュージアムネットワーク負担金 負担金を出した効果: 県内博物館・美術館・歴史民俗資料館・考古資料館等と連携をし各館との連携が図れた。</p>
------------------------------------	--

単位:円

細節	予算額	決算額	内容
報償費	15,000	15,000	白山本地仏借用謝礼(賀祥区)
消耗品費	330,000	326,028	コピー代金、印刷機トナー他
燃料費	85,000	27,889	冬季灯油代金
印刷製本費	871,697	861,060	ポスター・チラシ(12展示)、館案内印刷
光熱水費	1,561,553	1,523,049	電気代1,511,169、水道料11,880
施設修繕料	100,000	99,000	展示室エアコン修理(はしもと)
備品修繕料	20,000	15,950	消防設備交換(上田商事)
通信運搬費	370,750	322,094	ポスター・チラシ郵送料235,353、電話代86,741
広告料	97,000	96,800	山陰広域MAP掲載料(山陰広域マップ制作協議会)8,800 ダラズFMスポット料(DARAZコミュニティ放送)33,000 山陰放送ラジオ広告料(山陰放送)55,000
手数料	14,000	13,100	浄化槽法定検査(鳥取県保健事業団)
火災保険料	195,000	194,709	建物災害共済継続委託分担金(鳥取県町村会)
保守点検委託料	339,000	324,900	自家用電気工作物保安管理業務(前田電気)150,000 浄化槽維持管理業務(みつわ環境開発)48,400、消防用設備法定点検料(上田商事)126,500
施設管理委託料	478,000	467,280	警備(北陽警備)277,200、浄化槽清掃(みつわ衛生社)190,080
その他の委託料	525,000	524,480	掛軸修復(HATA Studio)491,480、ポスター複製(青光社)33,000
借上料	222,000	185,790	AED(鳥取医療器)35,640、複合機(衣笠商会)86,790 マット・モップレンタル(ユカロン)63,360
使用料	82,000	81,840	インターネット利用料金(中海テレビ放送)81,840
その他負担金	2,000	2,000	鳥取県ミュージアムネットワーク負担金2,000
合計	5,308,000	5,080,969	

②成果または活動の問題点
施設の老朽化により収蔵物の保存が適切に行えない。
専門家などには高く評価されているが、地元で収集物の価値を広げられていない。

※昨年度工事請負費2,728千円は屋根修繕によるもの。

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	3	文化財保護費	会計名	一般会計	
事業名	3	町内遺跡調査保存管理事業						所属名	人権・社会教育課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	埋蔵文化財					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	埋蔵文化財包蔵地の開発工事に伴い、遺跡の有無を確認する。					⑥歴史・文化及びスポーツの振興				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	適正に文化財の確認を行い、保存・活用について検討を行う。					「五つの挑戦」から見た位置づけ				
							⑤行財政改革 根拠法令・要綱等				
文化財保護法 南部町文化財保護条例											
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減							
	290,738 円	502,671 円	211,933 円	72.9 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減							
	381 千円	715 千円	334 千円	87.7 %							
				令和6年度執行率	70.30 %						

【事業内容】

○町内の埋蔵文化財包蔵地の試掘調査については該当自治体が行うこととされているため、適切な時期に必要な試掘調査を実施する。(国費1/2・県費1/4補助)

【決算の状況】

(計画)

○保育園新設に伴う開発地の試掘調査
トレンチ2m×10mを8本掘削予定
試掘予定期間:4月～6月
整理作業期間:6月～8月
報告書作成:7月～3月

(実績)

- ①成果実績または活動実績
 - イチゴ栽培研修用ハウス等に付随する駐車場整備に伴う試掘調査(5/20～5/22)トレンチ10m×1mを1本掘削
 - ・年度途中に開発協議されたが予算内で調査できた。
 - 保育園新設に伴う開発地の試掘調査(5/29～6/27)トレンチ2m×3mを26本掘削
 - ・開発部局との情報共有が不足した点も認められたため、連携に留意する。
 - 県土整備局砂防堰堤工事に伴う試掘調査(9/17～12/13)トレンチ5m×1.5m3本、5m×3m2本、5m×1.2m1本、4m×1m1本、5m×1.5m1本計8本掘削
 - ・年度途中に開発協議されたが予算内で調査できた。(試掘の結果、いずれの場所も遺跡・遺構は確認できず、今後の開発に影響を及ぼす結果ではなかった。)

②成果または活動の問題点

試掘調査のノウハウを町調査員が持っておらず、県等の調査指導により作業を進めている。

単位:円

細節	予算額	決算額	内容
消耗品費	100,000	99,331	発掘消耗品、整理作業用品他
印刷製本費	282,000	125,400	発掘調査報告書作成業務(米子プリント)125,400
通信運搬費	10,000	9,540	発掘調査報告書郵送料
借上料	323,000	268,400	町内遺跡調査重機借上げ(T・M・S) 268,400
合計	715,000	502,671	

※報告書作成経費が予定より安価であったため。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
14-2-5-2	埋蔵文化財国庫補助金	158,000	246,000	10 需用費	133,658	224,731
15-2-6-2	指定文化財保存整備費等補助金	79,000	123,000	11 役務費	6,600	9,540
				13 使用料及び賃借料	150,480	268,400
	一般財源	53,738	133,671			
	計	290,738	502,671	計	290,738	502,671

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	埋蔵文化財の確認を行い開発事業との調整を図るため、試掘調査を実施し、埋蔵文化財の適正な保存を行う。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	必要な試掘調査を実施し、年度内に報告書作成を完了することができた。関係機関と連携し、適正な事業執行を行う。
	解決すべき課題への方策	研修参加などで調査員としての資質向上を図り、調査指導者との連携も密にする。

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	4	同和教育振興費	会計名	一般会計	
事業名	1	進学奨励金支給事業						所属名	人権・社会教育課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	経済的理由で進学が困難な町内の生徒。						総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)	奨学金を支給することにより、差別等に負けない力の育成と進学 の機会を保障し、卒業までの支援を行う。						③人権尊重社会の実現			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	対象者の把握と広報等を通じた制度の周知を行い、この事業を利用 されることによる部落差別の解消、人権尊重社会の実現に向け た行政の姿勢を明確にするとともに、進学・通学への支援を行う。						「五つの挑戦」から見た位置づけ			
								④共生と防災のまちづくり			
前年度 比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減			南部町における部落差別はじめあらゆる 差別をなくす条例 南部町進学奨励金交付要綱				
	3,648,362 円	3,387,502 円	△ 260,860 円	△ 7.2 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減			令和6年度	99.96 %			
	4,722 千円	3,389 千円	△ 1,333 千円	△ 28.2 %			執行率				

【事業内容】

経済的理由で進学に困難を抱えている町内の高校生・大学生を対象に奨学金の支給を行う。

【決算の状況】

(計画)

- 通信運搬費 5,000 円
- その他補助金 3,384,000 円
 - 高校生 20人×6,000円×12ヶ月= 1,440,000 円 (高専・専攻科生を含む)
 - 大学生 18人×9,000円×12ヶ月= 1,944,000 円 (短大・専修学校生を含む)

(実績)

①成果実績または活動実績

- 通信運搬費 3,502 円
- その他補助金

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	交付人数(人)	交付額(円)	交付人数(人)	交付額(円)	交付人数(人)	交付額(円)
高校生	25	1,800,000	26	1,872,000	20	1,440,000
大学生	14	1,512,000	17	1,773,000	18	1,944,000
合計	39	3,312,000	43	3,645,000	38	3,384,000

令和5年度の大学生の内、1人は5か月分の交付額

②成果または活動の問題点

支給決定後に開催する学習会に、より多くの参加があるよう工夫する必要がある。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				11 役務費	3,362	3,502
				18 負担金補助及び交付金	0	3,384,000
				19 扶助費	3,645,000	0
	一般財源	3,648,362	3,387,502			
	計	3,648,362	3,387,502	計	3,648,362	3,387,502

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	広報活動等での周知を図りながら、対象者への支援を継続する。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	関係機関等と連携を図り、制度の周知に努める。
	解決すべき課題への方策	支給決定後に行う、対象者へ奨学金の意図や今後の進路に活かせる学習会を継続しながら、意識啓発を引き続き行い、より多くの参加があるよう内容などを工夫する。

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	5	図書館費	会計名	一般会計	
事業名	1	図書館施設管理等運営事業					所属名	人権・社会教育課			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	図書館利用者、職員					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	暮らしに役立つ場として、快適に利用していただける様にする。業務に集中できる環境を整える。					⑤生涯学習の推進				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	図書館利用者がたくさんの知識・情報を図書館で得ることによって様々な課題の解決をすすめることができる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ				
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		図書館法 南部町立図書館条例 読書バリアフリー法	②子育て環境の充実				
	2,263,506 円	2,301,437 円	37,931 円	1.7 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減			令和6年度	93.97			
	2,596 千円	2,449 千円	△147 千円	△5.7 %			執行率				

【事業内容】

- 各種研修会 ○郵送料支払い ○図書館用品の購入(天萬図書館棚板等)
- 施設管理(消耗品、天萬図書館照明取替等) ○各種会費(日本図書館協会、サピエ図書館等)
- 図書館システム保守点検委託

【決算の状況】

(計画)

- 各種研修会参加
中国・四国地区図書館地区別研修会 1回
専門講座等 4回

- 施設管理(天萬図書館照明取替等)
消耗品の購入(除菌用品等)
天萬照明取替工事 152,097円

- 業務委託
図書館システム保守点検委託
委託先:株式会社ケイズ
業務内容:図書館システム管理、修理等
サポート業務

- 図書館用品購入
天萬棚板増設 46,750円
図書用返却ポスト増設 150,150円

(実績)

- ①成果実績または活動実績
- 各種研修会参加
中国・四国地区図書館地区別研修会 1回
専門講座2回 他全12回
・公用車利用又はオンラインで参加
オンライン 2回 公用車利用 10回

- 施設管理
・除菌用品の購入
・天萬図書館照明取替(3台分) 152,097円

- 業務委託
図書館システム保守点検委託
委託先:株式会社ケイズ
委託内容:図書館システム管理、トラブル時の修理等サポート業務の委託
・図書館システム機器保守料 158,400円
・図書館システムソフトウェア保守料 1,221,000円
・図書館ICタグ機器保守料 407,000円

- 図書館用品購入
棚板セット(天萬) 46,750円
返却ポスト増設 140,690円
CDプレーヤー 7,260円

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				7 報償費	86,400	0
				10 需用費	175,199	176,989
				11 役務費	25,621	28,268
				12 委託料	1,731,392	1,786,400
				13 使用料及び賃借料	48,480	47,580
				17 備品購入費	128,914	194,700
				18 負担金補助及び交付金	67,500	67,500
	一般財源	2,263,506	2,301,437			
	計	2,263,506	2,301,437	計	2,263,506	2,301,437

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	職員の専門性維持・資質向上のため、各種研修派遣を継続する。「暮らしに役立つ場」「知の拠点施設」として快適に利用していただける環境を整える。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	法勝寺図書館は貸出冊数、貸出者数ともに前年度より微増した。天萬図書館は貸出冊数が減となったが利用者数は微増した。資料の新鮮さや司書との信頼関係の構築など多くの方に利用してもらっている。今後もニーズへの対応に継続して取り組む。
	解決すべき課題への方策	音声データの活用や地域と連携し、より身近なところへの本の配本など、図書館利用に困難を抱える方への方策に取り組む。

事業名	1	図書館施設管理等運営事業	所属名	人権・社会教育課
-----	---	--------------	-----	----------

○負担金

- ・負担金名:日本図書館協会 会費 23,000円
研修会への参加
- ・負担金名:鳥取県図書館協会 会費 4,500円
研修会への参加
- ・負担金名:サピエ図書館利用料 40,000円
録音データのダウンロード

○負担金

- ・負担金名:日本図書館協会 23,000円
負担金を出した効果:加入により各種研修会への参加が職員のスキル向上に繋がった
- ・負担金名:鳥取県図書館協会 4,500円
負担金を出した効果:加入により各種研修会への参加が職員のスキル向上に繋がった。
- ・負担金名:サピエ図書館 40,000円
負担金を出した効果:視覚障がい等、目で文字を読むことが困難な方に向けて音声データをダウンロードした図書の作成が出来た。

単位:円

細節	予算額	決算額	内容
普通旅費	105,000	0	研修参加旅費
消耗品費	25,000	24,892	除菌用品等
施設修繕料	153,000	152,097	天萬図書館照明取替3台
通信運搬費	40,000	28,268	郵便料金
保守点検委託料	1,813,000	1,786,400	図書館システム機器保守料(ケイズ)158,400円 図書館システムソフトウェア保守料(ケイズ)1,221,000円 図書館ICタグ機器保守料(ケイズ)407,000円
借上料	48,000	47,580	天萬図書館モップ・マット賃借料
備品購入費	197,000	194,700	返却ポスト増設 46,750円 天萬図書館棚板購入 140,690円 CDプレーヤー購入 7,260円
その他負担金	68,000	67,500	日本図書館協会会費 23,000円 鳥取県図書館協会会費 4,500円 サピエ図書館会費 40,000円
合計	2,449,000	2,301,437	

【令和6年度の貸出冊数(個人)及び利用者数(貸出者数)、年間開館日】

	貸出冊数		利用者数		開館日	
	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度
法勝寺	85,315冊	86,081冊	24,279人	24,965人	296日	297日
天萬	44,952冊	43,772冊	11,878人	11,999人	275日	268日
両館	130,267冊	129,853冊	36,157人	36,964人		

○町民一人当たりの貸出冊数

貸出冊数(個人)÷人口(2024.4.30)
129,853冊÷10,213人=12.7冊
(県民一人当たりの貸出冊数:5.7冊)

②成果または活動の問題点

町民一人あたりの貸出冊数は、県民一人あたりの貸出冊数を大きく上回っているが、2館合計の貸出冊数は前年度より減少している。利用者数は微増しているが、今後も引き続き新規利用者の獲得に努める必要がある。また、サピエ図書館に加入し、音声データを作成しているが利用は少ない。図書館利用に困難がある方に向けた取組みが必要である。

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	5	図書館費	会計名	一般会計
事業名	2	図書館資料整備事業							所属名	人権・社会教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	図書館利用者	総合計画における位置づけ							
	意図 (対象をどうするか)	蔵書の充実、資料等の整備により町民・利用者の暮らしに役立つ図書館を目指し、町民の知識・見解を高める。	⑤生涯学習の推進							
	成果の視点 (どのような効果があるか)	蔵書の魅力は図書館利用の増へ繋がる。レファレンス件数の増加は、個々の課題解決へ繋がり、暮らしに役立つ図書館としての認知が広がる。	「五つの挑戦」から見た位置づけ							
			②子育て環境の充実 根拠法令・要綱等							
前年度比較		令和6年度決算額	差引	増減	図書館法 南部町図書館条例 読書バリアフリー法					
	10,217,141 円	10,307,829 円	90,688 円	0.9 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度	100.00 %				
	10,224 千円	10,308 千円	84 千円	0.8 %	執行率					

【事業内容】

図書、雑誌、新聞、視聴覚資料など図書館資料について、出版情報誌、社会情勢、話題の本や利用者からのリクエスト等広く情報を収集しながら司書が選書し購入する。

【決算の状況】

(計画)

- 新聞 日本海新聞・山陰中央新報(両館)
朝日新聞・日本経済新聞(法勝寺)
読売新聞・日本農業新聞(天萬)
- 雑誌 法勝寺37誌 天萬38誌
- 週刊新刊全点案内(1年分)
- 郷土資料8mmフィルムDVD変換(2本)
- DVD複製(貸出用)2本
- 書籍 各館2,500冊
- 図書装備サービス料 各館2,500冊分
- 潮文庫設置(寄付分)

(実績)

①成果実績または活動実績

- 新聞 日本海新聞・山陰中央新報(両館)
朝日新聞・日本経済新聞(法勝寺)
読売新聞・日本農業新聞(天萬)
- 雑誌 法勝寺36誌 天萬38誌
- 週刊新刊全点案内(1年分)
- 郷土資料8mmフィルムのDVD変換2本
- DVD複製(貸出用)2本
- 書籍 法勝寺2,377冊 天萬2,323冊
- 視聴覚資料 法勝寺23点 天萬26点
- 図書装備サービス料 4,559冊分(両館)
- 潮文庫分 291冊(書籍の購入冊数に含む)

令和6年度の蔵書冊数とレファレンス件数

蔵書冊数			レファレンス件数		
法勝寺	天萬	合計	法勝寺	天萬	合計
76,160	75,682	151,842	440	403	843

町民一人あたりの蔵書冊数

$$151,842 \text{冊(蔵書数)} \div 10,213 \text{人(人口)} = 14.8 \text{冊}$$

県民一人あたりの蔵書冊数 7.6冊

- レファレンス件数は両館あわせて843件であり、昨年度の662件より181件増加した。
- 町民一人あたりの蔵書冊数は14.8冊であり、県民一人あたりの蔵書冊数7.6冊を大きく上回っている。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
18-2-5-1	公共施設整備基金繰入金	1,000,000	1,000,000	10 需用費	1,234,530	1,280,324
				12 委託料	17,160	34,980
				17 備品購入費	8,965,451	8,992,525
	一般財源	9,217,141	9,307,829			
	計	10,217,141	10,307,829	計	10,217,141	10,307,829

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	図書館資料は運営・サービスの要であり、質と新鮮度が求められる。多くの方に利用していただくためにニーズの把握、社会情勢や話題等に鑑みながら蔵書の構築と充実を図る。読書に困難を抱える方への支援、地域資料の収集や活用の充実を目指す。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	書籍に関する問い合わせとともに南部町に関する問い合わせも多い。問い合わせ(レファレンス)に対応していくためにも蔵書の充実は必要であり、引き続き選書に必要な情報を集めながら蔵書の構築に努める。
	解決すべき課題への方策	読書に困難を抱える方への支援として音声データなどのバリアフリー図書の利用の促進を図る。本の検索や予約、レファレンス受付などができる図書館ホームページの活用について周知を図る。

事業名	2	図書館資料整備事業	所属名	人権・社会教育課
-----	---	-----------	-----	----------

(計画及び実績)

単位:円

細節	予算額	決算額	内容
消耗品費	1,280,324	1,280,324	新聞 法勝寺5紙、天萬5紙(444,892) 雑誌 法勝寺36誌、天萬38誌(766,132) 新刊全点案内(69,300)
その他の委託料	35,000	34,980	DVD変換2本、複製2本(34,980)
備品購入費	8,992,676	8,992,525	書籍 法勝寺2,377冊、天萬2,323冊(8,541,915) 視聴覚資料 法勝寺23点、天萬26点(359,450)
計	10,308,000	10,307,829	

②成果または活動の問題点

図書館利用を増やすためには、来館が困難な方、読書に困難を抱える方への支援が必要である。

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	5	図書館費	会計名	一般会計
事業名	5	図書館普及促進事業							所属名	人権・社会教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	図書館利用者、図書館未利用者						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	企画参加の機会を図書館利用へと繋げる。						⑤生涯学習の推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	幅広い年代へ向けた事業の実施により、新規利用者を増やし、利用の増に繋げる。						「五つの挑戦」から見た位置づけ		
							②子育て環境の充実 根拠法令・要綱等			
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減						
	1,034,905 円	874,349 円	△ 160,556 円	△ 15.5 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減		令和6年度				
	1,145 千円	933 千円	△ 212 千円	△ 18.5 %		執行率	93.71	%		

図書館法
南部町立図書館条例

【事業内容】

法勝寺、天萬図書館を会場に、年間を通じて幅広い年代を対象とした企画を実施することにより図書館来館のきっかけをつくり、図書館の機能の周知、利用の促進と拡大を図る。

【決算の状況】

(計画)

<大人・子ども対象事業>

- 手話講座 年11回
- 羊毛フェルト講座 年1回・2講座
- 図書館まつり 年1回

(実績)

①成果実績または活動実績

<大人・子ども対象事業>

事業名	場所	参加者数等
手話講座	キナルなんぶ	年11回・延べ110名
羊毛フェルト講座	天萬庁舎	14名
	キナルなんぶ	8名
図書館まつり ・古本・古雑誌市 ・ワークショップ	農業者トレーニングセンター	約236名

<大人対象事業>

- 大人の図書館 年6回
- 農業講座 年1回

<大人対象事業>

事業名	場所	参加者数等
大人の図書館		
・韓国語講座	天萬庁舎	5名
	キナルなんぶ	3名
・写経講座	天萬庁舎	10名
	キナルなんぶ	9/19 7名、10/21 17名
・源氏物語講座	天萬庁舎	10名
農業講座	キナルなんぶ	25名
植物画展示		展示期間11/2～10
・植物画教室	キナルなんぶ	7名
・リーディングワーク		7名
高橋遼氏講演会	キナルなんぶ	35名

(歳入内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
14-2-1-1	デジタル田園都市国家構想推進交付金	149,937	149,665	7 報償費	214,000	191,800
20-5-5-1	コピー機使用料	8,205	14,495	8 旅費	21,680	11,600
				10 需用費	799,225	670,949
	一般財源	876,763	710,189			
	計	1,034,905	874,349	計	1,034,905	874,349

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	新規利用者の確保、図書館利用者の拡充に向けて、幅広い年代を対象に企画事業を実施する。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	働く世代へ向けた事業の実施をきっかけに、初めて図書館に来館された方もあり、図書館の周知へと繋げることができた。子ども向けの事業を新たに2つ実施し、小学生以下の利用が増となった。今後も図書館利用のきっかけになる事業の実施に努めていく。
	解決すべき課題への方策	大人対象の企画事業を「学びのきっかけ」と捉え、自主的な学びへと繋げていく。児童・生徒の利用を増やすために、図書館利用のきっかけとなる事業を継続して実施していく。新規利用へつなげるために図書館HPやSNS、テレビ役場などデジタル配信を活用し、周知を図る。

事業名	5	図書館普及促進事業	所属名	人権・社会教育課
-----	---	-----------	-----	----------

<子ども対象事業>

- わんこ読書会 年1回
- 科学教室 年1回
- 図書館クイズ 年1回
- ぬいぐるみのおとまりかい 年1回
- おはなし会 定例 月3回

<子ども対象事業>

事業名	場所	参加者数等
わんこ読書会	キナルなんぶ	12名
科学教室	キナルなんぶ	27名
図書館クイズ	天萬	52名
	法勝寺	86名
ぬいぐるみのおとまりかい	法勝寺	11名
おはなし会	図書館、保育園、小学校、育児支援センター	約794名

単位:円

細節	予算額	決算額	内容
報償費	226,000	191,800	手話講座(66,000) 羊毛フェルト(20,000) 大人の図書館・韓国語(10,000) 大人の図書館・写経(30,000) 大人の図書館・源氏(10,000) 植物画展示(15,000) 植物画ワークショップ(20,000) ビジネス講演会(5,800) わんこ読書会(15,000)
普通旅費	36,000	11,600	手話講座(6,600) わんこ読書会(5,000)
消耗品費	671,000	670,949	コピー代(79,902) バーコード(59,400) ICタグ(297,000) 科学講座材料費(9,636) 図書館用品・事務用品(225,011)
計	933,000	874,349	

②成果または活動の問題点

参加者が固定化している事業もあるため、図書館として実施する事業について見直しが必要である。
対象者へ情報が届くよう広報について検討が必要。

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	5	図書館費	会計名	一般会計
事業名	6	図書館運営協議会委員報酬					所属名	人権・社会教育課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	図書館運営協議会委員					総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)	適正な図書館管理を行い、暮らしに役立つ図書館を目指し、協議や参加をいただく。					⑤生涯学習の推進			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	多様な世代の委員構成にすることで、多様な視点からの意見を図書館運営に活かすことができる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ			
						②子育て環境の充実 根拠法令・要綱等				
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減						
	0 円	78,300 円	78,300 円	100.0 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減		令和6年度				
	0 千円	109 千円	109 千円	100.0 %		執行率	71.83	%		

【事業内容】

図書館事業計画に関すること、図書館の諸行事に関すること、図書館利活用者の拡充に関すること、その他暮らしに役立つ図書館の実現に関することについて協議する。図書館運営への協力。

【決算の状況】

(計画)

○委員の委嘱

任期:令和6年6月から令和8年5月
南部町立図書館運営協議会設置要綱第3条に記載する以下の者のなかから12名以内とする。

- (1) 図書館長が推薦する図書館利用者
- (2) 学識経験を有する者
- (3) 公募委員3名以内

○図書館運営協議会の開催

4回開催
運営協議会設置要綱第2条に記載のある下記事項について協議する。

- (1) 図書館事業計画に関する事項
- (2) 図書館の諸行事に関する事項
- (3) 図書館利活用者の拡充に関する事項
- (4) その他暮らしに役立つ図書館の実現に関する事項

(実績)

①成果実績または活動実績

○委員の委嘱 10名 (男性4 女性6)

- ・ 図書館利用者 8名
- ・ 学識経験者 1名
- ・ 公募委員 1名

○図書館運営協議会の開催

第1回 令和6年7月4日実施

令和6年度図書館事業計画について意見交換
<意見>多様な図書館のイメージが頭に入っていて動けることが今の図書館にとって必要。図書館だけでなく、他の機関と連携することで、少ない力で大きな効果を生む。

第2回 令和6年10月16日実施

令和5年度の図書館年報について報告、意見交換
<意見>小学生の利用が下がっているのは、考えられる要素を検討したうえで、対策をたててほしい。居場所としての図書館も大事。貸出冊数だけで良い、悪いではないのではないかと。

第3回 令和6年12月6日実施

令和7年度の図書館事業についてグループ協議
<意見>図書館で講座を持つ意味を再認識して事業を考えるといいと思う。連携、共催を意識する。

第4回 令和7年3月27日実施

令和7年度の図書館事業について
<意見>農業講座は継続して欲しい。地元の事業に対しても図書館は応援していることを示して欲しい。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				1 報酬	0	78,300
	一般財源	0	78,300			
	計	0	78,300	計	0	78,300

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	町民に親しまれ、暮らしに役立つ図書館にするため、図書館運営やイベント等について積極的な議論、協力を行う。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	幅広い世代で構成されている委員の意見を図書館事業に取り入れることにより多様な視点での事業実施ができている。継続して、図書館事業に関わっていただく機会を持ち、図書館への関心を深めてもらうように努める。
	解決すべき課題への方策	図書館運営協議会委員の活動を広く知ってもらうために、活動報告など広報を考えたい。協議会委員の皆さんの意見もいただきながら、図書館HP、SNSの活用も視野にいれていきたい。

事業名	6	図書館運営協議会委員報酬	所属名	人権・社会教育課
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>○ 報酬 2,700円×12名×4回</p> <p>○ 図書館事業への協力 図書館まつり</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>○ 報酬 第1回 2,700円×7名=18,900円 2名は教職員であるため報酬の支払いなし 第2回 2,700円×7名=18,900円 2名は教職員であるため報酬の支払いなし 第3回 2,700円×7名=18,900円 2名は教職員であるため報酬の支払いなし 第4回 2,700円×8名=18,900円 1名は教職員であるため報酬の支払いなし</p> <p>○ 図書館事業への協力 図書館まつり 令和6年10月27日実施 4名参加 報酬なし 南部町学校教育・社会教育合同拡大審議会 令和7年2月18日実施 2名参加 報酬なし</p> <p>② 成果または活動の問題点 令和6年度は新しい任期が始まる年度であり、設置要綱に基づき、公募委員(3名以内)の募集をしたが応募は1名であった。もっと多くの方に関心を持っていただく必要があると考えている。図書館運営協議会委員の活動の周知ができていないことも要因の一つと考える。</p> </div> </div>				

款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	1	保健体育総務費	会計名	一般会計	
事業名	1	スポーツ推進委員報酬						所属名	人権・社会教育課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	スポーツ推進委員						総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)	スポーツ推進委員が中心となって、生涯スポーツを普及促進し、町民の健康・体力の増進を促進するための人材を育成する。						⑥歴史・文化及びスポーツの振興			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	各種スポーツ行事への協力やスポーツの実技指導等を通じて、スポーツの普及促進に繋がっている。						「五つの挑戦」から見た位置づけ			
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		スポーツ基本法 南部町スポーツ推進委員に関する規則					
	275,090 円	275,090 円	0 円	0.0 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減		令和6年度	99.67 %				
	368 千円	276 千円	△ 92 千円	△ 25.0 %		執行率					

【事業内容】

- 住人の求めに応じてスポーツの実技の指導を行う。
- 住人のスポーツ活動の促進のための組織の育成を図る。
- 学校、公民館等の教育機関その他行政機関の行うスポーツ行事または事業に関し協力する。
- スポーツ団体その他の団体の行うスポーツに関する行事または事業に関し求めに応じて協力すること。
- 住民一般に対し、スポーツについての理解を深めること。
- 住民のスポーツの推進のための連絡調整及び指導助言を行うこと。

【決算の状況】

- (計画)
- 南部町スポーツ推進委員
委員任期:令和5年4月1日～令和7年3月31日
委員:9名
委員構成:社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有しており、職務を行うにあたり、必要な熱意と能力を有する者(スポーツ基本法第32条)

内容:町スポーツ推進委員協議会定例会
令和6年度事業計画の確認

西伯郡スポーツ推進委員連絡協議会事業
総会、交流会、研修会(各1回)

(実績)

- ①成果実績または活動実績
○南部町スポーツ推進委員
委員任期:令和5年4月1日～令和7年3月31日
委員:9名(男7名、女2名)

内容:町スポーツ推進委員協議会定例会
第1回定例会 令和6年5月13日 出席委員7名
令和6年度の計画の確認を中心に行った。
意見:西伯郡スポーツ推進委員連絡協議会事務局の担当町ともなっており、研修会では町委員の職業を生かした応急処置、交流会ではニュースポーツの体験をしてはどうか。

西伯郡スポーツ推進委員連絡協議会事業
総会:令和6年5月18日 参加5名
交流会(モルック):令和7年1月25日 参加8名
研修会(応急処置):令和7年3月9日 参加4名
意見:交流会及び研修会については、委員が中心となり会の進行を行った。他町村の委員と交流や普段できない経験ができた。

(歳入内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				1 報酬	258,300	258,300
				11 役務費	16,790	16,790
	一般財源	275,090	275,090			
	計	275,090	275,090	計	275,090	275,090

(歳出内訳 単位:円)

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	スポーツ推進委員の主催する事業を計画し、生涯スポーツの普及促進を図る。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	町内スポーツ行事への協力を継続していく。
	解決すべき課題への方策	地域や総合型スポーツクラブへの事業移行により、スポーツ推進委員の在り方や、活動の計画を検討していく必要がある。スポーツ推進委員の活動を何かしらの形で町民に還元する方法を考える。

事業名	1 スポーツ推進委員報酬	所属名	人権・社会教育課
	<p>県スポーツ推進委員連絡協議会事業 研究大会(年1回)</p> <p>町内事業への協力 全日本トライアスロン皆生大会ボランティア ねんりんピック大会運営ボランティア 緑水湖健康マラソンボランティア</p> <p>○報酬 28,700円×9名 ○役務費 1,850円×9名(スポーツ安全保険) 140円(システム利用料)</p>		<p>県スポーツ推進委員連絡協議会事業 研究大会(西部地区開催) 令和6年12月14,15日 参加 14日:4名 15日:3名</p> <p>町内事業への協力 全日本トライアスロン皆生大会ボランティア 7名 ねんりんピック大会運営ボランティア 5名 緑水湖健康マラソンボランティア 6名</p> <p>○報酬 28,700円×9名=258,300円 ○役務費 1,850円×9名(スポーツ安全保険) +140円(システム利用料)=16,790円</p> <p>②成果または活動の問題点 活動が事業への協力中心となっており、参加した研修 会で得た情報を町民に周知及び還元ができていない。</p>

款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	1	保健体育総務費	会計名	一般会計	
事業名	2	スポーツ推進審議会委員報酬						所属名	人権・社会教育課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	スポーツ推進審議会委員						総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)	町のスポーツ推進に関する重要事項の調査及び審議を行い、生涯スポーツへの体制、環境整備の促進を図る。						⑥歴史・文化及びスポーツの振興			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	町内のスポーツ分野における課題点の解消						「五つの挑戦」から見た位置づけ			
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		スポーツ基本法 南部町スポーツ推進審議会条例					
	8,100 円	8,100 円	0 円	0.0 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減		令和6年度執行率	30.00 %				
	38 千円	27 千円	△ 11 千円	△ 28.9 %							

【事業内容】

スポーツの振興に関する重要事項について、調査及び審議を行う。
南部町のスポーツの方向性や、動向について審議する。

【決算の状況】

(計画)

○スポーツ推進審議会

委員任期:令和5年10月1日～令和7年9月30日

委員:6名(委員数は7名以内、内2名は女性)

委員構成

社会体育分野

学校関係者

地域関係者

内容

第1回:令和6年度事業計画について
部活動の地域移行についての経過報告

第2回:令和7年度事業計画について
令和6年度事業の報告

報酬 2,700円×5名×2回

(実績)

①成果実績または活動実績

○スポーツ推進審議会

委員任期:令和5年10月1日～令和7年9月30日

運営委員:6名(男性4名、女性2名)

委員構成

社会体育分野 2名

学校関係者 2名

地域関係者 2名(女性)

内容

第1回 令和6年12月20日 出席委員5名
ねんりんピックはばたけ鳥取2024、部活動の地域移行についての報告、令和7年度の主要事業や計画について説明を行った。

評価:中学校部活動の地域移行について注目度が高く、県内でも南部町が先進的である。

意見:現在部活動として存在していない種目の動向について心配である。

報酬 2,700円×3名=8,100円

②成果または活動の問題点

議題の固定化が見られるため、議題につながる意見収集や、解決策を審議する必要がある。

※実施回数の減及び出席委員のうち、報酬が必要な委員が3名であり、執行率が低くなった。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				1 報酬	8,100	8,100
	一般財源	8,100	8,100			
	計	8,100	8,100	計	8,100	8,100

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	町のスポーツ環境の課題を審議会において審議する。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	審議会を必要に応じて開催し、スポーツ環境に対する課題解決を図る。
	解決すべき課題への方策	関係団体の意見や審議会の答申をもとに具体的な施策を展開する。

款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	1	保健体育総務費	会計名	一般会計
事業名	4	保健体育総務費事務費						所属名	人権・社会教育課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	社会体育関係団体(体育協会等の町内スポーツ団体、大会実行委員会)及び大会等参加者						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	育成団体及びスポーツ大会運営に対して補助金等を交付し、生涯スポーツ普及促進及び住民の健康増進を促進する。						⑥歴史・文化及びスポーツの振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	町内スポーツ団体の活動支援をすることにより、健全な団体運営や持続的な大会が実施することができ、生涯スポーツの普及促進を通して、住民の健康増進につながる。						「五つの挑戦」から見た位置づけ ③健康長寿のまちづくり 根拠法令・要綱等		
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	南部町スポーツ大会派遣補助金交付要綱 南部町社会体育関係団体等活動支援補助金交付要項					
	5,918,129 円	5,894,764 円	△ 23,365 円	△ 0.4 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度					
	6,630 千円	6,730 千円	100 千円	1.5 %	執行率	87.59	%			

【事業内容】

- 町内各種スポーツ団体等の育成支援を行う。
- 主催大会運営への支援や財政的支援、各大会遠征への参加支援を行い、団体運営と組織力の強化を図る。
- 町内での生涯スポーツの普及、発展の推進を図るための事業を進展する。

【決算の状況】

(計画)

- 町内各種スポーツ団体等の育成支援を行う。
- 町内での生涯スポーツの普及、発展の推進を図るための事業を展開する。
- ・大会出場応援看板の作成
17件(個人・団体):177,760円

○業務委託

地域おこし協力隊運営支援(スポーツ振興)
委託先:南部町総合型地域スポーツクラブ
委託内容:スポーツ振興業務
委託先と連携して子どもから高齢者までスポーツの普及活動を行うこと。

- ・スポーツ推進委員研修:90,808円
令和6年度中国地区スポーツ推進委員研修会
令和6年6月29日～30日 広島県福山市
参加委員 3名

(実績)

①成果実績または活動実績

・大会応援看板:221,100円

	R4	R5	R6	R6年度は懸垂幕を1セット
個人	15	14	13	作成
団体	2	2	2	団体(複数人表示分を含む)

○業務委託

地域おこし協力隊運営支援(スポーツ振興)
委託先:南部町総合型地域スポーツクラブ
(令和4年度から業者に委託)
委託内容:スポーツ振興業務
委託先と協働して幅広い世代を対象とした事業を展開した。隊員のキャリアを活かしたキッズサッカー教室は高評価であった。

- ・スポーツ推進委員研修旅費:50,800円
令和6年度中国地区スポーツ推進委員研修会
令和6年6月29日～30日 広島県福山市
参加委員 3名

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				8 旅費	0	27,600
				10 需用費	242,223	255,598
				11 役務費	13,354	18,543
				12 委託料	3,854,512	3,587,323
				13 使用料及び賃借料	329,340	539,600
				18 負担金補助及び交付金	1,478,700	1,466,100
	一般財源	5,918,129	5,894,764			
	計	5,918,129	5,894,764	計	5,918,129	5,894,764

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	スポーツ大会の開催支援やスポーツ大会等派遣補助等を継続して行うことにより、生涯スポーツの普及、発展の推進に繋げる。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	各活動への支援を継続しながら、新たなスポーツ環境の検討を行いその整備を図る。
	解決すべき課題への方策	障がいのある方を対象としたスポーツの振興について事業を展開する。関係団体の意見や審議会の答申をもとに具体的な施策を展開する。

事業名	4	保健体育総務費事務費	所属名	人権・社会教育課
-----	---	------------	-----	----------

○主催大会運営への支援や財政的支援、関係団体に負担金を支払い、団体運営と組織力の強化を図る。

○補助金

南部町社会教育関係団体等活動支援事業
 (事業名:緑水湖マラソン実行委員会補助金)
 交付目的:緑水湖周辺を活用した南部町のPR及びマラソンを通じて健康と体力づくりへの関心を高める。
 交付先:緑水湖マラソン実行委員会
 予算額:300,000円

○補助金

南部町社会教育関係団体等活動支援事業
 (事業名:緑水湖マラソン実行委員会補助金)
 交付目的:緑水湖周辺を活用した南部町のPR及びマラソンを通じて健康と体力づくりへの関心を高める。
 交付先:緑水湖マラソン実行委員会
 交付額:300,000円
【補助金積算の内容】
 事業費1,600,307円に対する町助成。
 ・緑水湖健康マラソン大会(令和6年10月27日開催)

	R4	R5	R6
参加者数(人)	351	750	818

○負担金

- ・西伯郡スポーツ協会負担金:924,600円
- ・県スポーツ推進委員協議会負担金:18,000円

○負担金

- ・西伯郡スポーツ協会負担金:924,600円
 負担金を出した効果:西伯郡の住民が参加する西伯郡郡民スポーツ大会の運営や、上位大会の県スポーツ・レクリエーション祭への選手派遣等、郡内の生涯スポーツの振興に寄与した。
- ・県スポーツ推進委員協議会負担金:13,500円
 負担金を出した効果:県内で活躍するスポーツ推進委員の活動や年1回開催される研修会の活動に充てられ、委員間の交流や、資質向上に大きく寄与した。

○各大会遠征への参加支援を行う。
 大会等派遣助成金:500,000円

○各大会遠征への参加支援を行う。
 大会等派遣助成金:228,000円

	R4	R5	R6
申請数	11	7	8

宿泊費、交通費の1/2補助

団体:スポnetなんぶジュニアソフトボールクラブ
 個人:7名

②成果または活動の問題点

障がいのある方を対象としたスポーツ振興に向けた事業に着手できていない。

単位:円

細節	予算額	決算額	内容
消耗品費	238,845	238,845	大会出場応援看板等
燃料費	83,155	16,053	大会派遣燃料代、中国スポーツ推進委員研修会のためのガソリン代
普通旅費	54,000	27,600	中国地区スポーツ推進委員研修会宿泊費
食糧費	8,000	700	郡スポーツ大会引率昼食費
通信運搬費	17,000	16,533	郵便後納料金
その他保険料	37,000	2,010	郡スポーツ大会保険料
その他の委託料	3,588,000	3,587,323	地域おこし協力隊運用支援(南部町総合型地域スポーツクラブ)
借上料	947,000	533,940	AEDレンタル、バス借上料
使用料	5,000	1,000	中国地区スポーツ推進委員研修会駐車場料
通行料	9,000	4,660	中国地区スポーツ推進委員研修会高速料金
その他負担金	943,000	938,100	西伯郡スポーツ協会負担金、県スポーツ推進委員協議会負担金
その他補助金	800,000	528,000	緑水湖マラソン補助金、大会等派遣助成金
合計	6,730,000	5,894,764	

款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	1	保健体育総務費	会計名	一般会計	
事業名	5	総合型地域スポーツクラブ支援事業					所属名	人権・社会教育課			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	南部町総合型地域スポーツクラブ「スポnetなんぶ」					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	町内の生涯スポーツの拠点となる南部町総合型スポーツクラブの健全な事業運営を図る。					⑥歴史・文化及びスポーツの振興 「五つの挑戦」から見た位置づけ				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	スポnetなんぶの事業展開の活性化 (会員数の増加、イベント行事の参加者増加)					③健康長寿のまちづくり 根拠法令・要綱等 なんぶ創生総合戦略(文化・芸術・スポーツによる地域づくり) スポーツ基本法 南部町総合型理行スポーツクラブ活動補助金交付要綱				
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減							
	16,246,320 円	16,241,219 円	△ 5,101 円	△ 0.0 %							
前年度比較	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減		令和6年度					
	16,324 千円	16,324 千円	0 千円	0.0 %		執行率	99.49 %				

【事業内容】

- 町民の健康づくりと生涯スポーツを推進するため、NPO法人南部町総合型地域スポーツクラブ「スポnetなんぶ」に必要な支援を行う。
- 住民の健康づくりや地域交流、生涯スポーツの実現に向けて、教育委員会事務局と連携を図る。

【決算の状況】

(計画)

- 南部町総合型地域スポーツクラブ活動補助金
交付目的:南部町総合型地域スポーツクラブの健全な運営を図るための支援を行うため。
交付先:南部町総合型地域スポーツクラブ
予算額:16,324,000円(内12,596,000円は人件費)

(実績)

- ①成果実績または活動実績
○南部町総合型地域スポーツクラブ活動補助金
交付目的:南部町総合型地域スポーツクラブの健全な運営を図るための支援を行うため。
交付先:南部町総合型地域スポーツクラブ
交付額:16,241,219円(内12,661,531円は人件費)

【補助金積算の内容】

事業費20,374,394円に対する町助成。
・会員数の推移及び各事業参加者数(抜粋)

会員数	R4	R5	R6
正会員	21	22	21
利用会員	1,174	1,167	1,223
(ジュニア会員)	710	715	725
(大人会員)	464	452	498
賛助会員	18	19	23

主催イベント 事業数:46 延べ参加人数:3,146人
スクール活動 25教室 延べ参加人数 29,487人
・会員数も昨年度に比較して増加している。
少子化に伴い、会員数の確保に苦慮する場面があったが、送迎バスの増便など工夫して会員を獲得することができている。 参考:[スポnetなんぶHP](#)

②成果または活動の問題点

少子化に伴い、スポーツ人口も減少していくなかで今後、会員数や利用者の確保がより困難になることが予想される。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				18 負担金補助及び交付金	16,246,320	16,241,219
	一般財源	16,246,320	16,241,219			
	計	16,246,320	16,241,219	計	16,246,320	16,241,219

今後に向けて

- ①今後の事業全体の方向性とその内容
NPO法人としての組織団体の力が持てるよう、各種事業の開催や会員増加促進などの活動支援を行う。
- ②次年度へ向けた次への行動・具体策
 - 達成できた点をさらに伸ばす方策
各種主催事業での町内施設利用促進のため、人件費、事業費を補助する。新規スクールの開設など、幅広い世代のニーズにあった健康増進事業の展開に努める。
 - 解決すべき課題への方策
主催事業への参加者増員や会員の増加促進等にあたり、関係諸団体と連携をとり支援を行う。知名度アップを図るためスポnetと教育委員会・その他関係諸団体と協力してPRを推進する。

款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	2	体育施設費	会計名	一般会計
事業名	1	体育施設管理事業						所属名	人権・社会教育課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	管理する施設 施設を利用する町内外利用者					総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)	施設の維持・管理を行い、快適に使用できるようにする。 利用者の身心の健康増進に繋げる。					⑥歴史・文化及びスポーツの振興			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	施設を安全に使用することができる。 施設の利用促進を図り、利用者(又は利用団体)の増加により、スポーツ活動を通しての交流や健康増進に繋げる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ			
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減		スポーツ基本法 南部町体育施設条例 南部町公の施設の指定管理者の指定 手続等に関する条例				
	13,998,216 円	8,762,140 円	△ 5,236,076 円	△ 37.4 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減						
	14,277 千円	8,788 千円	△ 5,489 千円	△ 38.4 %						
				令和6年度執行率	99.71 %					

【事業内容】

- ・町民体育館、町民野球場、町民運動場、東西町スポーツ広場、東長田山村広場の維持管理を行い、スポーツを通じて、交流の場を提供する。
- ・指定管理者へ管理委託を行い、委託後も管理運営等に関しては指導を行う。
町民体育館(平成29年度から指定管理委託実施)
委託期間…令和6年4月1日から令和9年3月31日まで(3年間)
指定管理者…特定非営利活動法人南部町総合型地域スポーツクラブ
- 東西町スポーツ広場(令和6年度から指定管理委託実施)
委託期間…令和6年4月1日から令和9年3月31日まで(3年間)
指定管理者…東西町地域振興協議会
- 東長田山村広場については、直営で管理を行う。

【決算の状況】

(計画)

○町民体育館

施設利用者・団体の増加を目指す。
指定管理者と連携し、有効利用を図る。

(実績)

①成果実績または活動実績

○町民体育館

利用者数及び使用料収入推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数(人)	11,596	12,879	13,838
使用料(円)	737,620	752,180	625,560

ジュニアサッカーチーム(減免団体)が練習で利用、用具の無料貸出などのPRを行い、一般利用者が増加した。

②成果または活動の問題点

定期利用団体の利用が無くなり、利用料収入が減少した。今後、部活動の地域移行により、減免団体の利用増が見込まれるなかで、利用料収入をどのように増やすかが課題となる。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
13-1-5-3	東西町スポーツ広場使用料	5,580	0	10 需用費	490,097	87,077
18-2-5-1	公共施設整備基金繰入金	5,177,700	0	11 役務費	269,239	321,439
20-5-5-1	体育施設自動販売機設置手数料	3,740	3,740	12 委託料	7,985,200	7,765,344
				13 使用料及び賃借料	75,980	71,280
				14 工事請負費	5,177,700	517,000
	一般財源	8,811,196	8,758,400			
	計	13,998,216	8,762,140	計	13,998,216	8,762,140

今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容

利用頻度、利用者数は多い施設のため効率的な利用調整を行い、利用促進を図る。
安心して利用いただくため、施設設備等の修繕箇所等の確認及び計画的な修繕に努める。

②次年度へ向けた次への行動・具体策

達成できた点をさらに伸ばす方策

各指定管理者と連携し、利便性の向上と利用頻度の低い時間帯などの解決策を模索し、利用の促進を図る。必要な修繕等を適宜行う。

解決すべき課題への方策

各指定管理者と連携し、利用頻度の低い時間帯の利用促進策を検討する。
老朽化に伴う施設設備等の修繕を計画的に行う。

事業名	1	体育施設管理事業	所属名	人権・社会教育課
-----	---	----------	-----	----------

○町民運動場及び野球場
施設利用者・団体の増加を目指す。
指定管理者と連携し、有効利用を図る。

①成果実績または活動実績
○町民運動場(運)及び野球場(野)
利用者数及び使用料収入推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数(人)	運:3,493	運:3,219	運:4,792
	野:3,846	野:4,387	野:4,050
計	7,339	7,606	8,842
使用料(円)	運:26,370	運:16,740	運:48,050
	野:269,360	野:208,000	野:198,640
計	295,730	224,740	246,690

ねんりんピックソフトボール大会の会場や、野球ジュニアチームの大会会場になるなど、施設の利用人数が増加した。
運動場がドローン講習が定期的実施され、利用者及び使用料収入につながった。

②成果または活動の問題点
大会予備日としての予約も多く、利用キャンセルが40件と多くあった。

○東西町スポーツ広場
施設利用者・団体の増加を目指す。
指定管理者と連携し、有効利用を図る。

①成果実績または活動実績
○東西町スポーツ広場
利用者数及び使用料収入推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数(人)	204	335	895
使用料(円)	5,580	5,580	0

住民の利用や、地域振興協議会での行事での利用が増えた。
バスケットゴールや壁打ち場では、若い世代の方の利用も多く、幅広い世代の方利用されている。

②成果または活動の問題点
夜間に不審者情報があるなど、利用者が安心して利用できない事案が発生していた。管理者の対応もあったが、今後連携して適切に管理をしていく必要がある。

○東西町スポーツ広場
施設利用者・団体の増加を目指す。
指定管理者と連携し、有効利用を図る。

①成果実績または活動実績
○東長田山村広場
利用者数及び使用料収入推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数(人)	6	330	894
使用料(円)	0	15,600	130,000

雨天時利用や、定期利用が増え、利用者及び使用料収入が大幅に増加した。

②成果または活動の問題点
施設の老朽化が進んでおり、計画的に修繕を行っていく必要がある。

※令和5年度に南部町民野球場・運動場の照明コンクリート柱を撤去したために減。
照明コンクリート柱撤去費:5,177,700円

単位:円

細節	予算額	決算額	内容
消耗品費	10,000	9,570	東西町スポーツ広場看板
光熱水費	77,507	77,507	光熱水費への支払いに充当
施設修繕費	17,093	0	
手数料	52,200	52,200	し尿汲み取り料
火災保険料	270,000	269,239	建物災害共済継続委託分担金(鳥取県町村会)
保守点検委託料	13,200	13,200	東長田山村広場消防用設備等定期点検委託料(上田商事)
その他委託料	253,000	252,144	東長田山村広場除草業務(Mフィールド)88,000、東長田山村広場進入路及び建屋裏清掃(南部広域シルバー人材センター)65,144、町民体育館ラバーマーク他油脂状汚れ去清掃(東亜建物管理)99,000
指定管理料	7,500,000	7,500,000	町民体育館3,950千円(南部町総合型地域スポーツクラブ) 町民野球場・運動場3,100千円(南部町総合型地域スポーツクラブ) 東西町スポーツ広場450千円(東西町地域振興協議会)
借上料	71,280	71,280	AEDレンタル料
使用料	720	0	
工事請負費	523,000	517,000	町民体育館添乗照明修繕工事
合計	8,788,000	8,762,140	AEDレンタル料